伊都キャンパスの生活状況等に関する

アンケート結果

平成24年

九州大学新キャンパス計画専門委員会

福利厚生施設ワーキンググループ

目　次

１．まえがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
２．伊都キャンパスの生活状況等に関する意識調査・・・・・・・・・・・・・　６
〈フェイスシート〉
１．所属・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
２・学年・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
３．性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
４．留学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
５．収入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
〈通学について〉
６．所属・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
６－１．性別とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
６－２．留学生とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
６－３．現在の住所とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
７．通学の際利用している割引券等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
８．西鉄バスを利用する場合の主なバス停・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
９．昭和バスを利用する場合の主なバス停・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
１０．通学時間　（片道）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
１０－１．現在の住所とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
１１．利便性をさらに向上させるために必要なもの・希望・・・・・・・　２０
１２．車・バイク等の所有・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
１３．車・バイク等の所有願望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
１４．車・バイク等の所有したい理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２
〈住居について〉
１５．現在の住所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
１５－１．学年とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４
１６．現在の住居形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
１６－１．性別とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
１６－２．現在の住所とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６
１７．居住地選択の際の重視事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２７
１８．居住地周辺に必要な施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８
１９．居住地の周辺環境の満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９
２０．周辺環境に満足している理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
２１．周辺環境に不満な理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

２２．住居の部屋代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
２２－１．留学生とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
２２－２．現在の住所とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
２２－３．現在の住居形態とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
２３．現在の住居を探した理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
２４．伊都キャンパス移転に伴う転居について・・・・・・・・・・・・・・・・３７
２５．転居時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
２６．転居エリア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
２７．希望の住居形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
２８．ルームシェアタイプの住居・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
２９．転居の際の重視事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
３０．転居しない理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
３１．民間賃貸物件の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
３２．転居希望エリア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
３３．転居希望エリアの理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
〈学生寄宿舎について〉
３４．ドミトリーへの入居申請の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
３４－１．学年とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
３４－２．性別とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
３４－３．留学生とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
３４－４．現在の住居形態とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
３４－５．住居の部屋代とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
３４－６．入居希望者とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
３５．入居を申請した理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
３６．入居を申請しなかった理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
〈キャンパスでの生活について〉
３７．伊都キャンパス以外での授業を受けているキャンパス・・・・・・・５５
３８．伊都キャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法・・・・・・・・５６
３９．自動車入構の有料化に伴う生活への影響・・・・・・・・・・・・・・５７
３９－１．学年とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８
４０．伊都キャンパスでの食事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
４０－１．性別とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
４０－２．留学生とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
４０－３．学年とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
４１．伊都キャンパス内の施設等で利用している食事の区分・・・・・・・６２
４２．食事の価格について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２

４３．伊都キャンパスでの生活の満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６３
４３－１．性別とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６４
４３－２．留学生とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６４
４３－３．学年とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６５
４４．伊都キャンパス周辺に必要な施設・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６６
４５．伊都キャンパスに移転して良かったこと・・・・・・・・・・・・・ ６７
〈放課後の生活について〉
４６．サークルへの所属・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６８
４６－１．学年とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６９
４６－２．性別とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７０
４６－３．留学生とのクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７０
４７．所属サークルの区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７１
４８．サークルの活動場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７２
４９．サークルの活動施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７２
５０．サークルの活動頻度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７３
５１．アルバイトの有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７３
５２．アルバイトの頻度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７４
５３．アルバイトの種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７５
５４．アルバイトの場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７６
５５．夕食の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７７
５６．主な下校時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７８
〈休日の活動について〉
５７．休日の外出頻度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７９
５８．休日の主な外出先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８０
〈自由記述〉
自由記述
１．施設・建物に関して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８１
２．キャンパス内の生活支援施設（食堂・売店等）に関して・・・・ ８２
３．住居（学生寄宿舎・民間賃貸物件）に関して・・・・・・・・・・ ８３
４．課外活動・アルバイトに関して・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８３
５．地元まちづくりへの要望又は地域との連携等に関して・・・・・ ８４
６．その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８４

１．まえがき

九州大学は 2009 年（平成 21 年）4 月に六本松キャンパス、同年 10 月に数理学府の移転が終了しました。

本アンケートは、移転を終えた学生の新キャンパスライフの状況等を調査するとともに、学生の意向等を把握するために実施したものです。

調査に快く協力して下さった学生の皆さんに感謝するとともに、この結果が、今後の伊都キャンパスへの移転に反映されれば幸いです。

平成 24 年 3 月
九州大学新キャンバス計画専門委員会
福利厚生ワーキンググループ

伊都キャンパスの生活状況等に関するアンケート調査票

１．目的等：伊都キャンパスの学生生活支援等の今後の整備充実に向けた活用を目的としています。皆さんの環境をよくするためにも、また、これから入学する後輩のためにも必要なアンケートです。前回までのアンケートの結果は，九州大学のホームページに掲載しています。貴重なデータとして活用されていますので，ご協力をお願いいたします。

【これまでのアンケート結果の活用状況】

・学生向けアパートの建設促進
・糸島市コミュニティバスの利用料金値下げ
・センターゾーンに立体駐車場とバイク置場の整備
・センター1 号館とセンター２号館の渡り廊下への大屋根設置
・その他，伊都キャンパスの運営，施設整備等

※九州大学ホームページに伊都キャンパスへの交通アクセス，周辺地域の情報などは，掲載していますので，ご覧ください。
URL ： http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/

２．回答方法：ホームページ上で，回答してください。

２．伊都キャンパスの生活状況等に関する意識調査

●アンケートの概要

◆調査対象

平成 23 年 12 月現在、九州大学の全学教育（教養教育)、理学部（数学科)、工学部、21 世紀プログラム課程、比較社会文化学府、数理学府、工学府、システム情報科学府及び統合新領域学府に在籍する学生を対象とした。

◆調査期間

平成 23 年 12 月　～　平成 23 年１月

◆調査方法

Web 上での無記名によるアンケート調査

◆回収状況

対象者数　7,732 人　　有効回答数　383 人

◆アンケートの内容

❍所属・身分等に関する質問

１．所属
２・学年
３．性別
４．留学生
５．収入

❍通学に関する質問

６．所属
７．通学の際利用している割引券等
８．西鉄バスを利用する場合の主なバス停
９．昭和バスを利用する場合の主なバス停
１０．通学時間　(片道)
１１．利便性をさらに向上させるために必要なもの・希望
１２．車・バイク等の所有
１３．車・バイク等の所有願望
１４．車・バイク等の所有したい理由

❍住居に関する質問

１５．現在の住所
１６．現在の住居形態
１７．居住地選択の際の重視事項
１８．居住地周辺に必要な施設
１９．居住地の周辺環境の満足度
２０．周辺環境に満足している理由
２１．周辺環境に不満な理由
２２．住居の部屋代
２３．現在の住居を探した理由
２４．伊都キャンパス移転に伴う転居について
２５．転居時期
２６．転居エリア
２７．希望の住居形態
２８．ルームシェアタイプの住居
２９．転居の際の重視事項
３０．転居しない理由
３１．民間賃貸物件の検討
３２．転居希望エリア
３３．転居希望エリアの理由

❍学生寄宿舎に関する質問

３４．ドミトリーへの入居申請の有無
３５．入居を申請した理由
３６．入居を申請しなかった理由

❍キャンパスでの生活に関する質問

３７．伊都キャンパス以外での授業を受けているキャンパス
３８．伊都キャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法
３９．自動車入構の有料化に伴う生活への影響
４０．伊都キャンパスでの食事
４１．伊都キャンパス内の施設等で利用している食事の区分
４２．食事の価格について
４３．伊都キャンパスでの生活の満足度
４４．伊都キャンパス周辺に必要な施設
４５．伊都キャンパスに移転して良かったこと

❍放課後の生活に関する質問

４６．サークルへの所属

４７．所属サークルの区分

４８．サークルの活動場所

４９．サークルの活動施設

５０．サークルの活動頻度

５１．アルバイトの有無

５２．アルバイトの頻度

５３．アルバイトの種類

５４．アルバイトの場所

５５．夕食の方法

５６．主な下校時間

❍休日の活動に関する質問

５７．休日の外出頻度

５８．休日の主な外出先

６０．自由記述

※以下、表中の数字単位は、人数を示す。

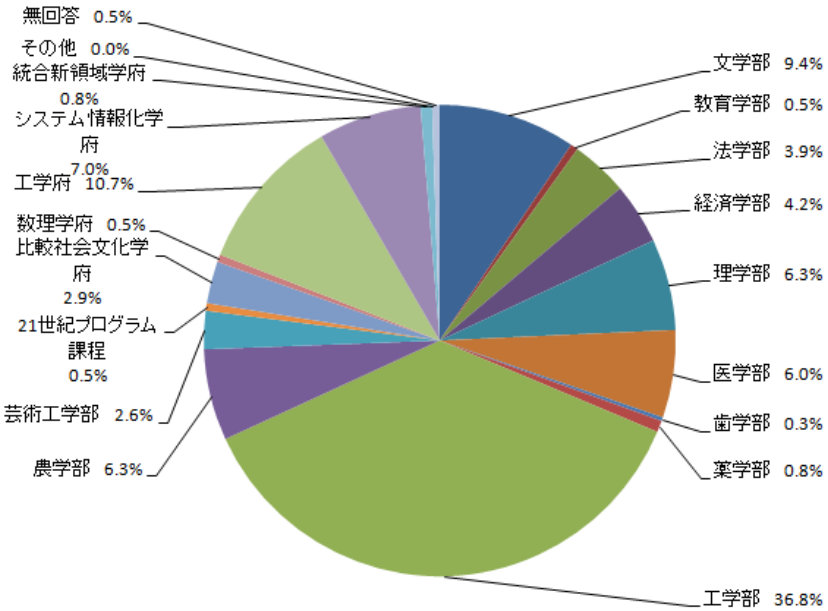
〈フェイスシート〉

1．所属

『あなたの所属する学部・学府について、該当する項目にチェックをして下さい。』

工学部が 38.5%（141 人）を占め最も多く、次いで工学府が 10.0%（41 人）を占めている。

所属	回答数	構成比
文学部	36	9.1%
教育学部	2	0.5%
法学部	15	3.9%
経済学部	16	4.8%
理学部	24	5.2%
医学部	23	5.5%
歯学部	1	0.5%
薬学部	3	1.0%
工学部	141	38.5%
農学部	24	6.5%
芸術工学部	10	1.4%
21世紀プログラム課程	2	0.4%
比較社会文化学府	11	3.3%
数理学府	2	0.6%
工学府	41	10.0%
システム情報化学府	27	7.6%
統合新領域学府	3	0.6%
その他	0	0.0%
無回答	2	0.6%
計	383	100.0%

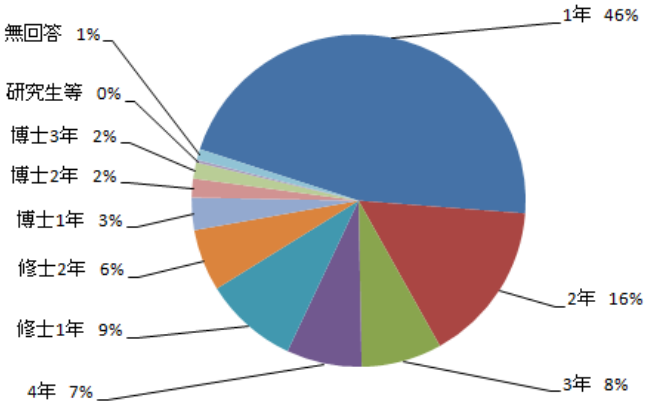


2．学年

『あなたの学年について、該当する項目にチェックをして下さい。』

学部は１年生が 46.2%（177 人）で最も多く、学部生は全体の 77.0%（295 人）を占める。

学年	回答数	構成比
1年	177	46.2%
2年	60	15.7%
3年	30	7.8%
4年	28	7.3%
修士1年	35	9.1%
修士2年	23	6.0%
博士1年	12	3.1%
博士2年	7	1.8%
博士3年	6	1.6%
研究生等	1	0.3%
無回答	4	1.0%
計	383	100.0%

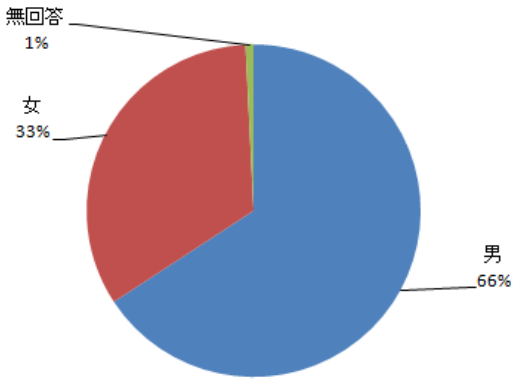


3．性別

『あなたの性別について、該当する項目にチェックをして下さい。』

男女構成比は男性が 66%（252 人）、女性が 33%（128 人）となっている。

性別	回答数	構成比
男	252	66%
女	128	33%
無回答	3	1%
計	383	100%

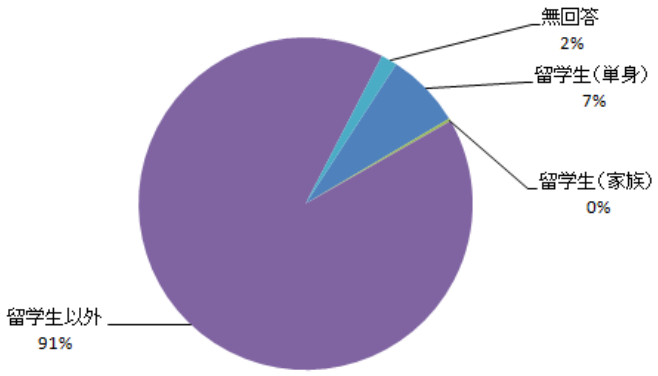


4．留学生

『あなたは留学生ですか、該当する項目にチェックをして下さい。』

留学生は全体の 7.6%（29 人）である。

選択項目	回答数	構成比
留学生（単身）	28	7.3%
留学生（夫婦）	0	0.0%
留学生（家族）	1	0.3%
留学生以外	348	90.9%
無回答	6	1.6%
計	383	100.0%

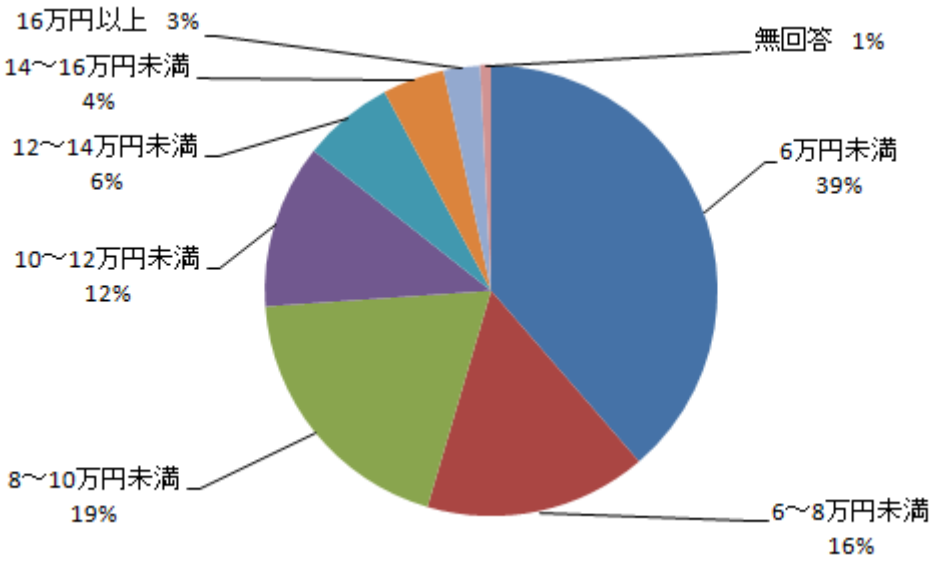


5. 収入

『あなたの一ヶ月の収入（仕送り、アルバイト、奨学金等含む）はいくらですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

6 万円未満が 38%（148 人）と最も多く、ついで 8~10 万円未満が 19%（74 人）である。前年度の比較して収入は減少傾向にある。

収入	回答数	構成比
6万円未満	148	38.6%
6～8万円未満	61	15.9%
8～10万円未満	74	19.3%
10～12万円未満	45	11.7%
12～14万円未満	25	6.5%
14～16万円未満	17	4.4%
16万円以上	10	2.6%
無回答	3	0.8%
計	383	100.0%



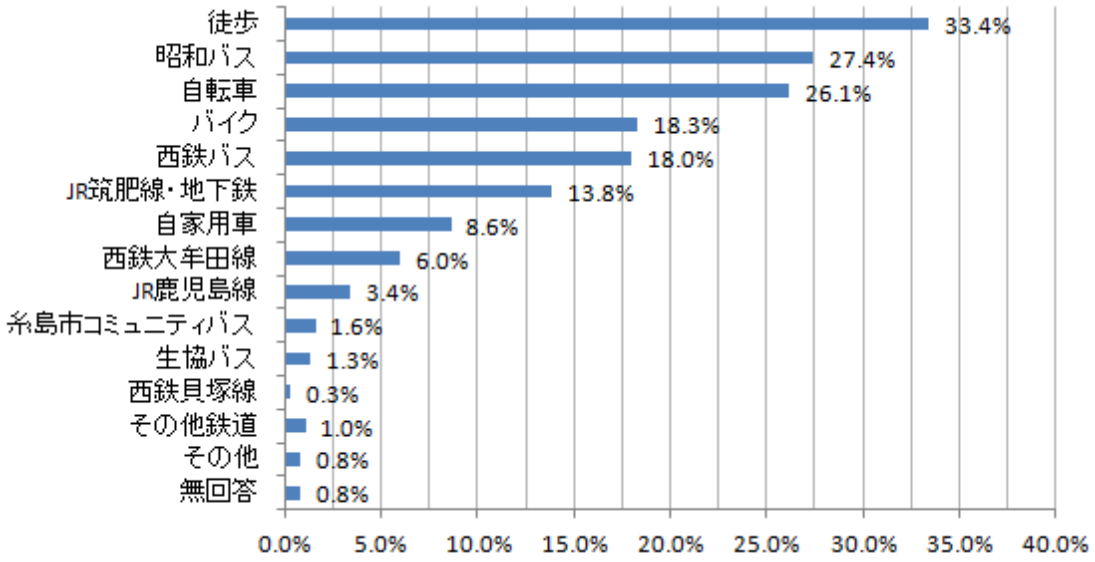
〈通学について〉

6．自宅から大学までの通学方法（複数回答）

『自宅から大学までの通学方法を記入して下さい。』

通学の手段として、徒歩 33%（128 件）、昭和バス 27%（105 件）、自転車 26%（100 件）、バイク 18%（70 件）、西鉄バス 18%（69 件）が多い。昨年度よりバイクの利用割合が減少し、昭和バスの利用割合は増加しているが、昨年度に比較して女性の回答者が増加しているため、上記のような差異が生じた可能性もある。

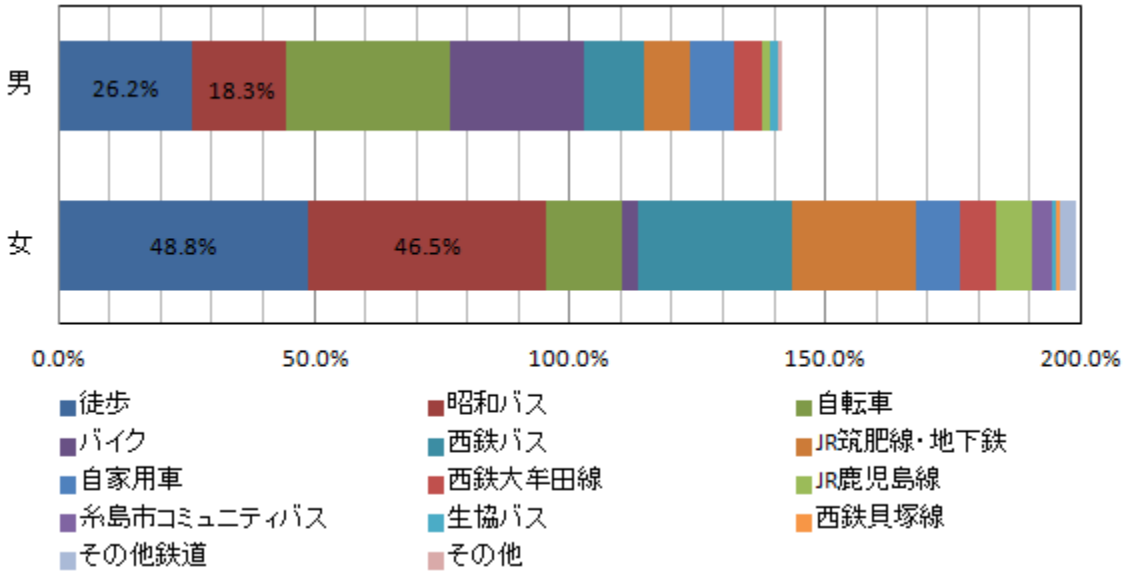
選択肢	回答数	回答者全体に対する割合
徒歩	128	33.4%
昭和バス	105	27.4%
自転車	100	26.1%
バイク	70	18.3%
西鉄バス	69	18.0%
JR筑肥線・地下鉄	53	13.8%
自家用車	33	8.6%
西鉄大牟田線	23	6.0%
JR鹿児島線	13	3.4%
糸島市コミュニティバス	6	1.6%
生協バス	5	1.3%
西鉄貝塚線	1	0.3%
その他鉄道	4	1.0%
その他	3	0.8%
無回答	3	0.8%



6－1. 性別とのクロス集計

男性は女性よりもバイク、自転車の利用割合が高く、女性は男性よりも公共交通機関（各種鉄道・バス）、徒歩による通学の割合が高い。昨年度の結果と比較すると、男性ではバイク・自家用車の割合が減少し、徒歩・バス・自転車の利用割合が増加している。一方、女性では徒歩・昭和バスが増加し、西鉄バスが減少している。

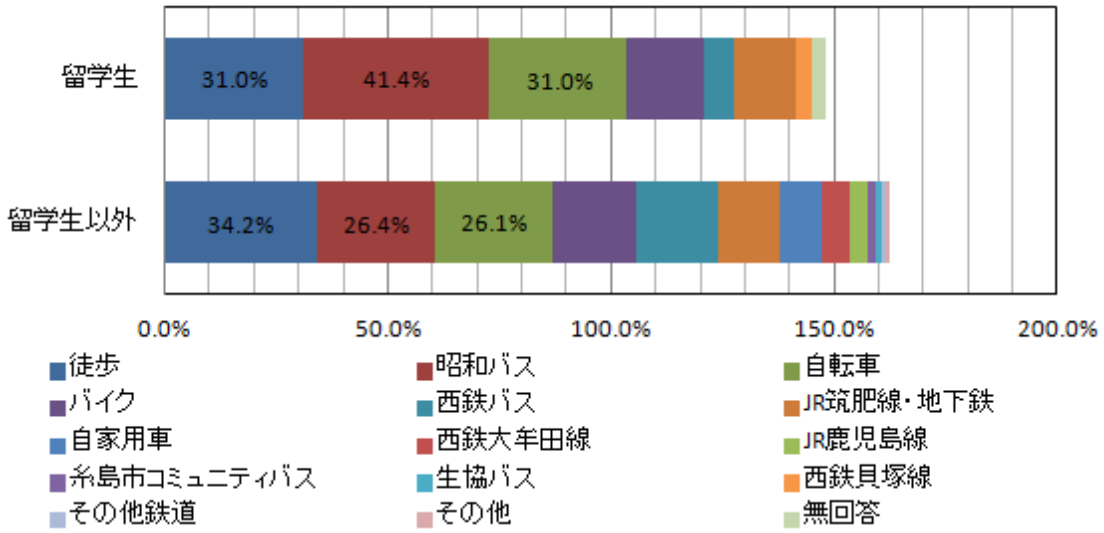
	徒歩	昭和バス	自転車	バイク	西鉄バス	JR筑肥線・地下鉄	自家用車	西鉄大牟田線	JR鹿児島線	糸島市コミュニティバス	生協バス	西鉄貝塚線	その他鉄道	その他	無回答	計
男	66	46	81	66	30	22	22	14	4	0	4	0	0	2	0	357
(252)	26.2%	18.3%	32.1%	26.2%	11.9%	8.7%	8.7%	5.6%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	141.7%
女	62	59	19	4	38	31	11	9	9	5	1	1	4	0	0	253
(127)	48.8%	46.5%	15.0%	3.1%	29.9%	24.4%	8.7%	7.1%	7.1%	3.9%	0.8%	0.8%	3.1%	0.0%	0.0%	199.2%
無回答	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4
(4)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	100.0%
計	128	105	100	70	69	53	33	23	13	6	5	1	4	3	1	614
(383)																



6－2. 留学生とのクロス集計

留学生の方が、昭和バスをよく利用している。昨年度の結果と比較すると、留学生では、西鉄バス、自家用車の割合が減少している。

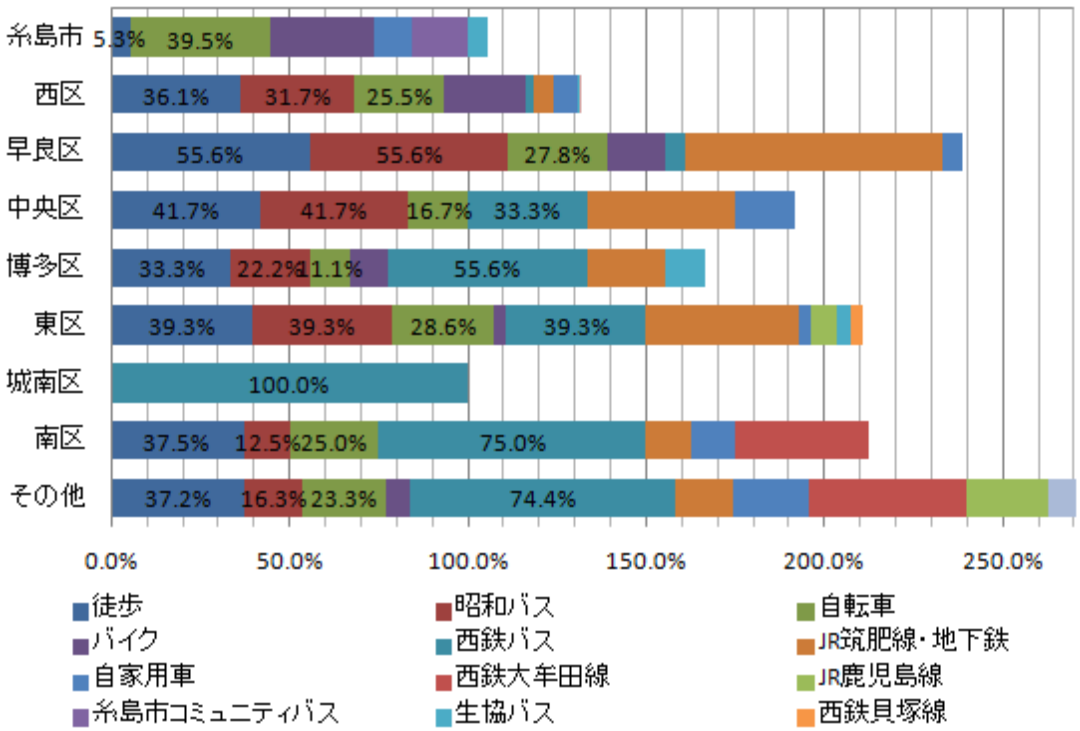
	徒歩	昭和バス	自転車	バイク	西鉄バス	JR筑肥線・地下鉄	自家用車	西鉄大牟田線	JR鹿児島線	糸島市コミュニティバス	生協バス	西鉄貝塚線	その他鉄道	その他	無回答	計
留学生	9	12	9	5	2	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	29
(29)	31.0%	41.4%	31.0%	17.2%	6.9%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	148.3%
留学生	119	92	91	65	65	48	32	23	13	6	5	0	4	2	0	565
以外	34.2%	26.4%	26.1%	18.7%	18.7%	13.8%	9.2%	6.6%	3.7%	1.7%	1.4%	0.0%	1.1%	0.6%	0.0%	162.4%
無回答	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	8
(6)	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	133.3%
計	128	105	100	70	69	53	33	23	13	6	5	1	4	3	3	602
(383)																



６－３．現在の住所とのクロス集計

居住地別の交通手段に着目すると、糸島市の学生は自転車 39.5%、バイク 28.9%、西区の学生は徒歩 36.1%、昭和バス 31.7%、自転車 25.5%、バイク 23.1%の利用割合が高い。

	徒歩	昭和バス	自転車	バイク	西鉄バス	JR筑肥線・地下鉄	自家用車	西鉄大牟田線	JR鹿児島線	糸島市コミュニティバス	生協バス	西鉄貝塚線	その他鉄道	その他	無回答	計
糸島市	2	0	15	11	0	0	4	0	0	6	2	0	0	0	0	40
(38)	5.3%	0.0%	39.5%	28.9%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	105.3%
西区	75	66	53	48	4	12	14	0	0	0	1	0	0	1	0	274
(208)	36.1%	31.7%	25.5%	23.1%	1.9%	5.8%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	131.7%
早良区	10	10	5	3	1	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	43
(18)	55.6%	55.6%	27.8%	16.7%	5.6%	72.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	238.9%
中央区	5	5	2	0	4	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	23
(12)	41.7%	41.7%	16.7%	0.0%	33.3%	41.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	191.7%
博多区	3	2	1	1	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	15
(9)	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	166.7%
東区	11	11	8	1	11	12	1	0	2	0	1	1	0	0	0	59
(28)	39.3%	39.3%	28.6%	3.6%	39.3%	42.8%	3.6%	0.0%	7.1%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	210.7%
城南区	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
(2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
南区	3	1	2	0	6	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	17
(8)	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	75.0%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	212.5%
その他	16	7	10	3	32	7	9	19	10	0	0	0	4	2	0	119
(43)	37.2%	16.3%	23.3%	7.0%	74.4%	16.3%	20.9%	44.2%	23.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	4.7%	0.0%	276.7%
無回答	3	3	4	3	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	3	24
(17)	17.6%	17.6%	23.5%	17.6%	23.5%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	141.2%
計	128	105	100	70	69	53	33	23	13	6	5	1	4	3	3	616
(383)																

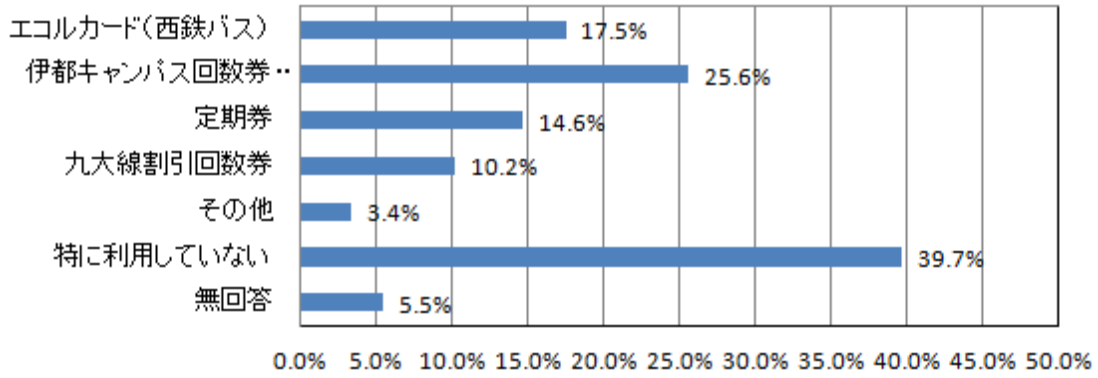


7. 通学の際利用している割引券等（複数回答）

『伊都キャンパスへの通学の際に利用している割引券等はありますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

伊都キャンパス回数券の利用割合は 25.6%と高く、昨年度より約 10%の増加である。特に何も利用していない人の割合は昨年度に比べて約 10%減少し、公共交通利用が増加している。

選択肢	回答数	回答者全体に対する割合	各交通機関の通学時利用者に対する割合	
エコルカード（西鉄バス）	67	17.5%	西鉄バス利用者（69人）に対する割合	97.1%
伊都キャンパス回数券	98	25.6%	地下鉄・JR筑肥線、昭和バス利用者	89.1%
定期券	56	14.6%	鉄道利用者（82人）に対する割合	68.3%
九大線割引回数券	39	10.2%	昭和バス利用者（105人）に対する割合	37.1%
その他	13	3.4%		－
特に利用していない	152	39.7%		－
無回答	21	5.5%		－

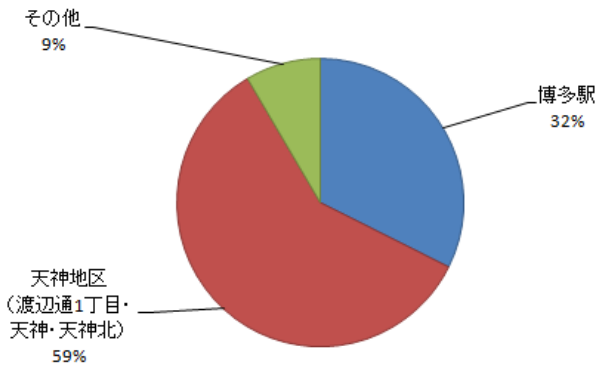


８．西鉄バスを利用する場合の主なバス停（問６で「西鉄バス」を選択した方のみ）

『問６の通学手段で『西鉄バス』を選択した方にお尋ねします。西鉄バス（博多駅～天神～九大工学部前）を利用する場合の主なバス停・時間帯等について、該当する項目にチェックをして下さい。』

天神地区が最も多く、59.2%（42 人）であり、博多駅は 32.4%（23 人）であった。博多駅利用者は約 10%増加しており、遠方からの通学者が増加していると思われる。

選択肢	回答数	回答者全体に対する割合
博多駅	23	32.4%
天神地区（渡辺通1丁目・天神・天神北）	42	59.2%
その他	6	8.5%

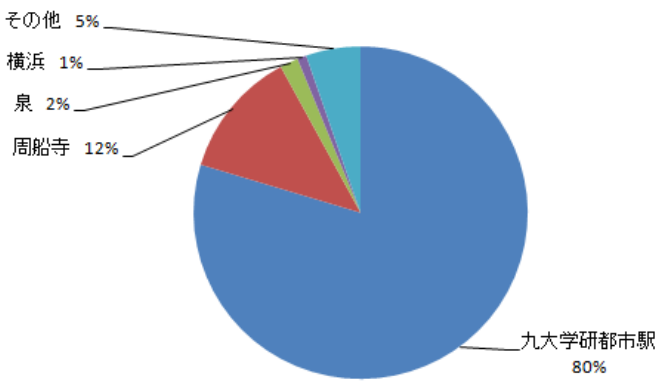


９．昭和バスを利用する場合の主なバス停（問６で「昭和バス」を選択した方のみ）

『問６の通学手段で『昭和バス』を選択した方にお尋ねします。昭和バス（九大学研都市駅～九大工学部前）を利用する場合の主なバス停・時間帯等について、該当する項目にチェックをして下さい。』

九大学研都市駅が 79.6%（90 人）で最も多く、ついで周船寺が 12.4%（14 人）である。前年度と比較すると、九大学研都市駅の利用割合が約 20%増加している。

選択肢	回答数	回答者全体に対する割合
九大学研都市駅	90	79.6%
周船寺	14	12.4%
泉	2	1.8%
横浜	1	0.9%
その他	6	5.3%

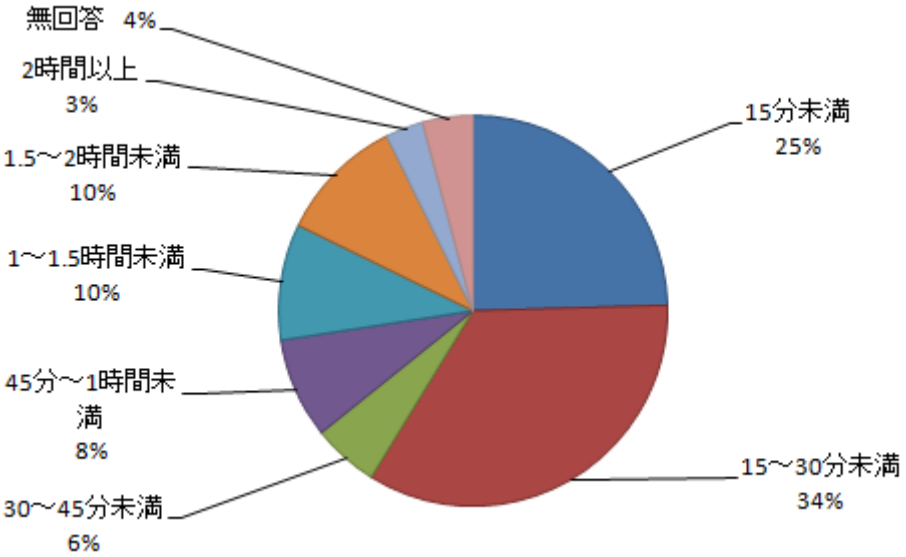


10. 通学時間（片道）

『通学時間（片道）について、該当する項目にチェックをして下さい。』

通学時間は、「15 分から 30 分未満」が 34.2%（131 人）と最も多く、ついで「15 分未満」が 24.5%（94 人）である。昨年度と比較すると、1.5 時間以上のかかる学生の割合が若干増加している。

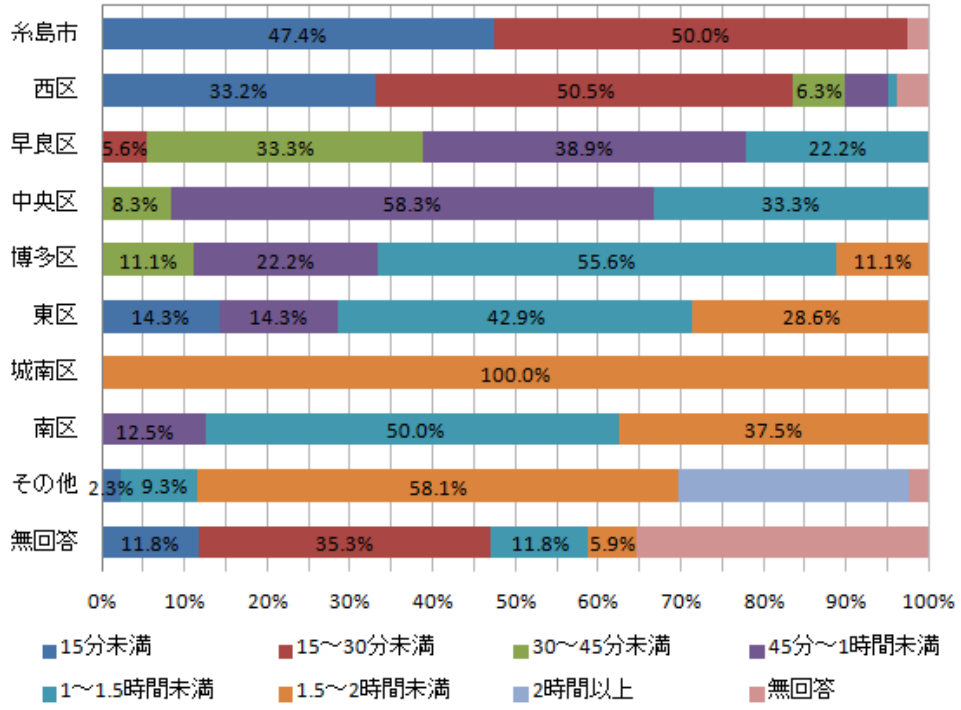
選択項目	回答数	構成比
15分未満	94	24.5%
15～30分未満	131	34.2%
30～45分未満	21	5.5%
45分～1時間未満	32	8.4%
1～1.5時間未満	37	9.7%
1.5～2時間未満	40	10.4%
2時間以上	12	3.1%
無回答	16	4.2%
計	383	100.0%



１０－１．現在の住所とのクロス集計

糸島市、西区に住んでいる学生の通学時間は、「15 分～30 分未満」が糸島市で 50.0%（19 人）、西区で 50.5%（105 人）と多く、ついで「15 分未満」が糸島市で 47.4%（18 人）、西区で 33.2%（69 人）である。前年度と比較すると、糸島市の「15 分未満」が約 7.4%増加している。中央区、早良区では、「45 分～1 時間未満」、東区、博多区、南区では「1 時間～1.5 時間」の割合が高い。

	15分未満	15～30分未満	30～45分未満	45分～1時間未満	1～1.5時間未満	1.5～2時間未満	2時間以上	無回答	計
糸島市	18	19	0	0	0	0	0	1	38
	47.4%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	100.0%
西区	69	105	13	11	2	0	0	8	208
	33.2%	50.5%	6.3%	5.3%	1.0%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
早良区	0	1	6	7	4	0	0	0	18
	0.0%	5.6%	33.3%	38.9%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
中央区	0	0	1	7	4	0	0	0	12
	0.0%	0.0%	8.3%	58.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
博多区	0	0	1	2	5	1	0	0	9
	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
東区	4	0	0	4	12	8	0	0	28
	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
城南区	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
南区	0	0	0	1	4	3	0	0	8
	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	1	0	0	0	4	25	12	1	43
	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	58.1%	27.9%	2.3%	100.0%
無回答	2	6	0	0	2	1	0	6	17
	11.8%	35.3%	0.0%	0.0%	11.8%	5.9%	0.0%	35.3%	100.0%
計	94	131	21	32	37	40	12	16	383

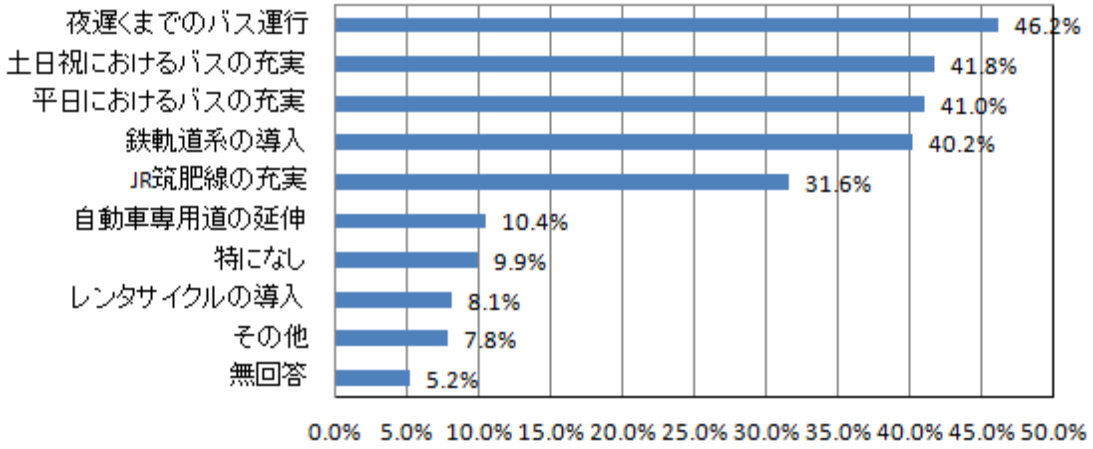


11. 利便性をさらに向上させるために必要なもの・希望（複数回答）

『伊都キャンパスへの通学に関し、今後、利便性をさらに向上させていく上で、必要なもの・希望することはありますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

バスの充実に関する希望が多く、「夜遅くまでのバス運行」に対する希望は 46.2%と高い。駅－キャンパス間の鉄軌道系の導入への希望も見られる。本回答割合は昨年度とほぼ同じで傾向であった。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
夜遅くまでのバス運行	177	46.2%
土日祝におけるバスの充実	160	41.8%
平日におけるバスの充実	157	41.0%
鉄軌道系の導入 （九大学研都市駅～伊都キャンパス間）	154	40.2%
JR筑肥線の充実	121	31.6%
自動車専用道の延伸 （西九州道～伊都キャンパス間）	40	10.4%
特になし	38	9.9%
レンタサイクルの導入	31	8.1%
その他	30	7.8%
無回答	20	5.2%

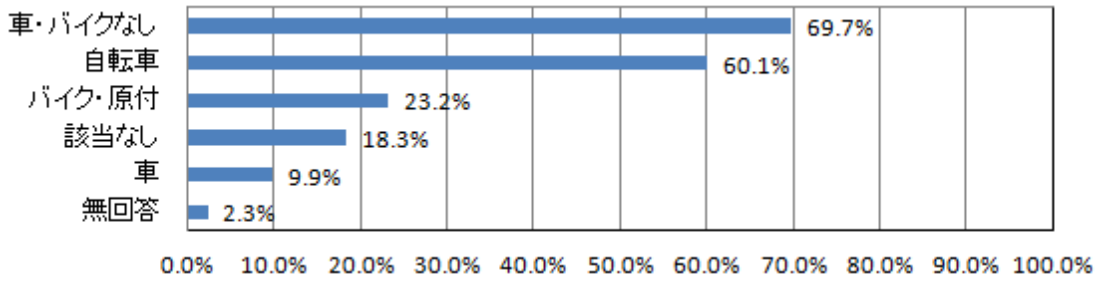


12. 車・バイク等の所有（複数回答）

『あなたは車・バイク等を所有していますか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「車・バイクなし」は 69.7%（267 人）であり、一方、「自転車」の所有割合は 60.0%（230 人）、「バイク・原付」の所有割合は 23.2%（89 人）であった。昨年度と比較すると、自転車の所有割合がやや増加する一方、車、バイク・原付の所有割合は減少している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
車・バイクなし	267	69.71%
自転車	230	60.05%
バイク・原付	89	23.24%
該当なし	70	18.28%
車	38	9.92%
無回答	9	2.35%

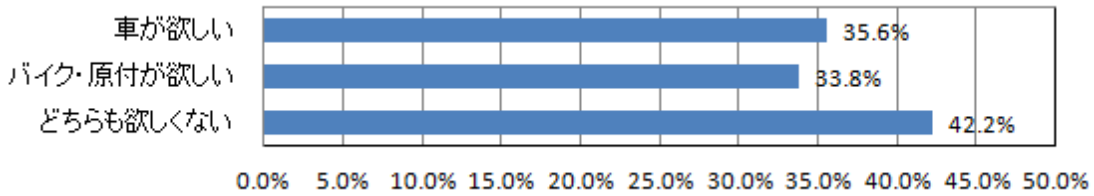


13. 車・バイク等の所有願望（複数回答，車・バイク等を所有していない方のみ）

『あなたは今後新たに車やバイク等が欲しいと思いますか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「車がほしい」は 36%（80 人）、「どちらも欲しくない」は 42%（95 人）であった。昨年度と比較すると、車所有に対する願望は減少し、バイク・原付所有に対する願望はほぼ変わらない。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
車が欲しい	80	36%
バイク・原付が欲しい	76	34%
どちらも欲しくない	95	42%

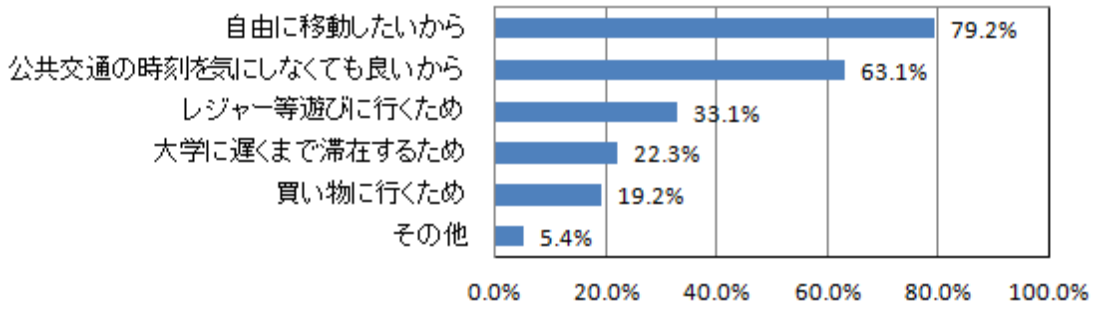


１４．車・バイク等を所有したい理由（複数回答，問１３で１又は２を選択した方のみ）

『「車が欲しい」又は「バイク・原付が欲しい」を選んだ方にお尋ねします。なぜ新たに欲しいと思いますか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「自由に移動したいから」が 79.2%（103 人）で最も多く、ついで「公共交通の時刻を気にしなくても良いから」が 63.1%（156 人）であった。昨年度と傾向は概ね同じであるが、昨年度の３位であった「大学に遅くまで滞在するため」が本年度は４位となり、「レジャー等に遊びに行くため」が３位となっている。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
自由に移動したいから	103	79.2%
公共交通の時刻を気にしなくても良いから	82	63.1%
レジャー等遊びに行くため	43	33.1%
大学に遅くまで滞在するため	29	22.3%
買い物に行くため	25	19.2%
その他	7	5.4%



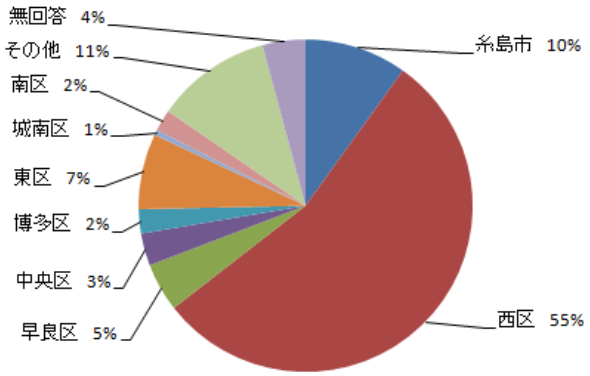
〈住宅について〉

１５．現在の住所（記述式）

『あなたはどこにお住まいですか。下の欄に○丁目まで記入して下さい。』

現在の住所は、西区は 54.6%（209 人）で最も多く、ついで糸島市が 9.9%（38 人）であり、市区別でみると、昨年度と傾向はあまり変わらない。西区の中では、徳重（42 人）、周船寺（32 人）、桑原（30 人）が多い傾向にある。

住所	回答数	構成比
糸島市	38	9.9%
西区	209	54.6%
早良区	18	4.7%
中央区	12	3.1%
博多区	9	2.3%
東区	28	7.3%
城南区	2	0.5%
南区	8	2.1%
その他	43	11.2%
無回答	16	4.2%
計	383	100.0%



	西区町名(回答数)	
西区東側（長垂山以東）	姪浜	(10)
	姪浜駅南	(2)
	小戸	(1)
	下山門	(5)
	豊浜	(1)
	野方	(2)
	愛宕	(3)
	愛宕南	(1)
	愛宕浜	(1)
	生の松原	(1)
	福重	(2)
	大町団地	(1)

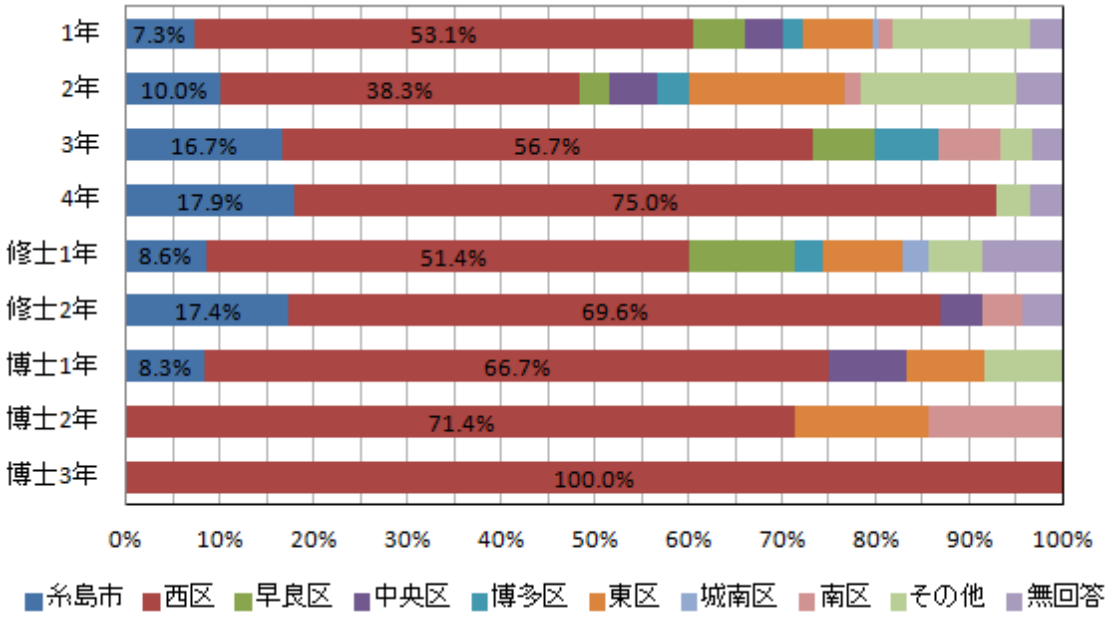
西区西側（長垂山以西）	周船寺	(32)
	富士見	(16)
	桑原	(30)
	田尻	(4)
	今宿	(5)
	今宿青木	(2)
	今宿東	(1)
	今宿駅前	(2)
	今宿町	(7)
	飯氏	(8)
	女原	(11)
	横浜	(9)
	泉	(2)
	元岡	(3)
	徳永	(42)
	千里	(2)
	不明	(3)

糸島市町名(回答数)	
高田	(6)
泊	(6)
泊かつらぎ	(8)
潤	(2)
前原中央	(1)
前原南	(1)
波多江駅北	(5)
波多江駅南	(4)
板持	(5)

１５－１．学年とのクロス集計

どの学年においても西区の居住割合が高い。１年生では、糸島市居住者が若干減少している。

	糸島市	西区	早良区	中央区	博多区	東区	城南区	南区	その他	無回答	計
1年	13	94	10	7	4	13	1	3	26	6	177
	7.3%	53.1%	5.6%	4.0%	2.3%	7.3%	0.6%	1.7%	14.7%	3.4%	100.0%
2年	6	23	2	3	2	10	0	1	10	3	60
	10.0%	38.3%	3.3%	5.0%	3.3%	16.7%	0.0%	1.7%	16.7%	5.0%	100.0%
3年	5	17	2	0	2	0	0	2	1	1	30
	16.7%	56.7%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	3.3%	3.3%	100.0%
4年	5	21	0	0	0	0	0	0	1	1	28
	17.9%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	100.0%
修士1年	3	18	4	0	1	3	1	0	2	3	35
	8.6%	51.4%	11.4%	0.0%	2.9%	8.6%	2.9%	0.0%	5.7%	8.6%	100.0%
修士2年	4	16	0	1	0	0	0	1	0	1	23
	17.4%	69.6%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	100.0%
博士1年	1	8	0	1	0	1	0	0	1	0	12
	8.3%	66.7%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
博士2年	0	5	0	0	0	1	0	1	0	0	7
	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
博士3年	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
研究生等	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	100.0%
計	38	208	32	33	15	40	14	18	78	21	383

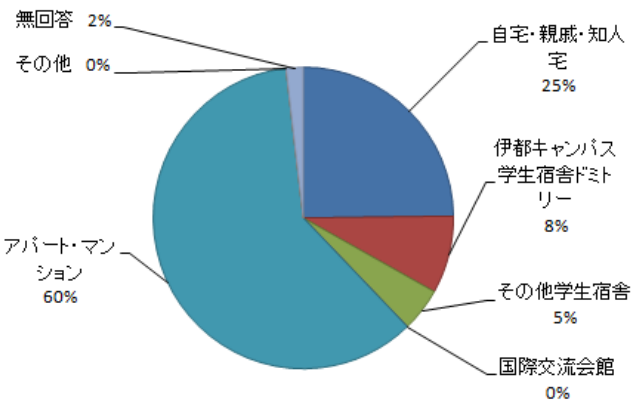


１６．現在の居住形態

『あなたの居住について、該当する項目にチェックをして下さい』

73.4%（281 人）の学生が自宅等以外に住んでおり、アパート・マンションに住んでいる学生が 60.3%（231 人）と最も多い。昨年度と比較すると、伊都キャンパス学生宿舎ドミトリーの割合が若干増加している。

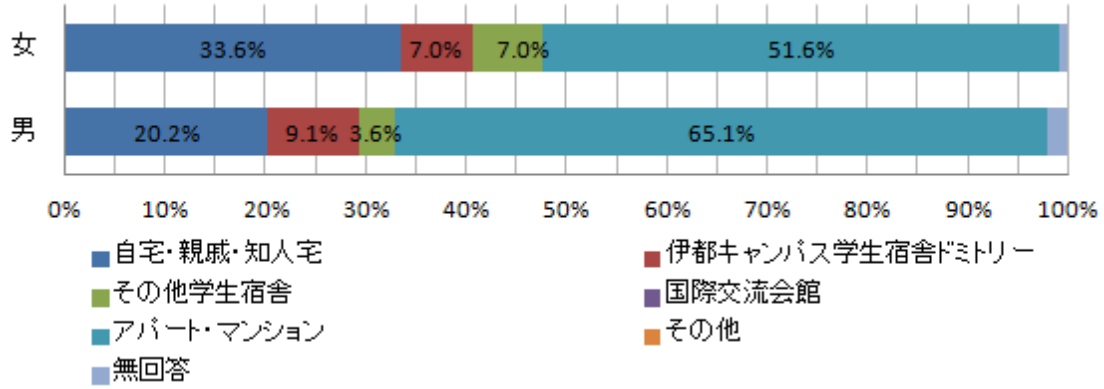
選択項目	回答数	構成比
自宅･親戚･知人宅	95	24.8%
伊都キャンパス学生宿舎ﾄﾞﾐﾄﾘｰ	32	8.4%
その他学生宿舎	18	4.7%
国際交流会館	0	0.0%
アパート･マンション	231	60.3%
その他	0	0.0%
無回答	7	1.8%
計	383	100.0%



１６－１．性別とのクロス集計

男性の 65.1%（164 人）がアパート・マンションに住んでおり、女性（アパート・マンション、51.6%、66 人）よりも多い。

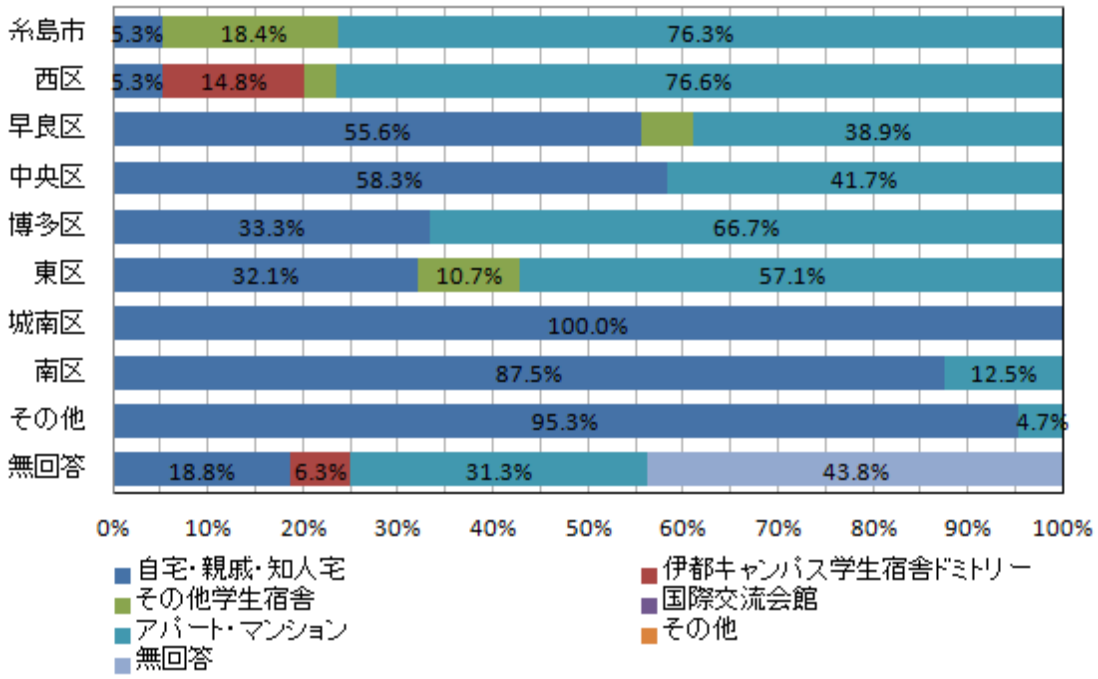
	自宅･親戚･知人宅	伊都キャンパス学生宿舎ﾄﾞﾐﾄﾘｰ	その他学生宿舎	国際交流会館	アパート･マンション	その他	無回答	計
男	51	23	9	0	164	0	5	252
	20.2%	9.1%	3.6%	0.0%	65.1%	0.0%	2.0%	100.0%
女	43	9	9	0	66	0	1	128
	33.6%	7.0%	7.0%	0.0%	51.6%	0.0%	0.8%	100.0%
無回答	1	0	0	0	0	0	2	3
	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%
計	95	32	18	0	230	0	8	383



１６－１．現在の住所とのクロス集計

現在の住居を「アパート・マンション」と答えた学生の割合は、西区が 76.6%（160 人）、糸島市も 76.3%（29 人）である。昨年度と比較すると、西区のアパート・マンション暮らしの学生割合が減少し、その一方で西区の伊都キャンパス学生宿舎ドミトリーの割合が若干増加している。

	自宅･親戚･知人宅	伊都キャンパス学生宿舎ドミトリー	その他学生宿舎	国際交流会館	アパート･マンション	その他	無回答	計
糸島市	2	0	7	0	29	0	0	38
	5.3%	0.0%	18.4%	0.0%	76.3%	0.0%	0.0%	100.0%
西区	11	31	7	0	160	0	0	209
	5.3%	14.8%	3.3%	0.0%	76.6%	0.0%	0.0%	100.0%
早良区	10	0	1	0	7	0	0	18
	55.6%	0.0%	5.6%	0.0%	38.9%	0.0%	0.0%	100.0%
中央区	7	0	0	0	5	0	0	12
	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%
博多区	3	0	0	0	6	0	0	9
	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
東区	9	0	3	0	16	0	0	28
	32.1%	0.0%	10.7%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%
城南区	2	0	0	0	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
南区	7	0	0	0	1	0	0	8
	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	41	0	0	0	2	0	0	43
	95.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	3	1	0	0	5	0	7	16
	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	31.3%	0.0%	43.8%	100.0%
計	95	32	18	0	231	0	7	383



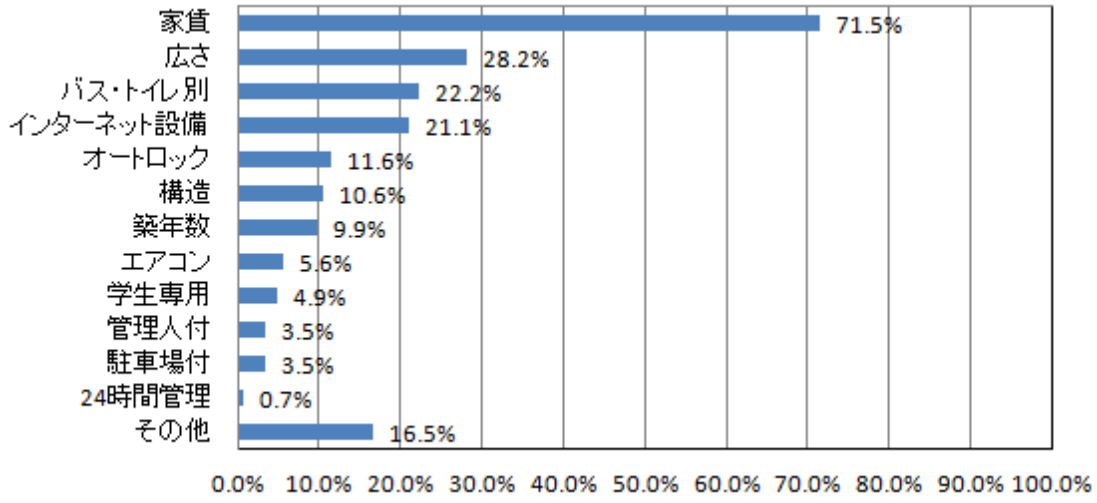
１７．居住地選択の際の重要事項

（２項目まで選択可，問１６で２～５（自宅等・その他以外）を選択した方のみ）

『居住地決定に当たり、居住条件や設備で何を主に重視しましたか。上位２位まで挙げ、該当する項目にチェックをして下さい。(二項目まで選択可)』

居住地決定時に重視するものとしては、「家賃」が 71.5%（203 人）と最も高く、ついで「広さ」(28.2%、80 人)、バス・トイレ（22.2%、63 人）である。昨年度と比較すると、第一の「家賃」と回答した割合は上昇している。全体の順位を比較すると、「オートロック」が順位を上げ、「駐車場付」は順位を落としている。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
家賃	203	71.5%
広さ	80	28.2%
バス・トイレ別	63	22.2%
インターネット設備	60	21.1%
オートロック	33	11.6%
構造	30	10.6%
築年数	28	9.9%
エアコン	16	5.6%
学生専用	14	4.9%
管理人付	10	3.5%
駐車場付	10	3.5%
24時間管理	2	0.7%
その他	47	16.5%



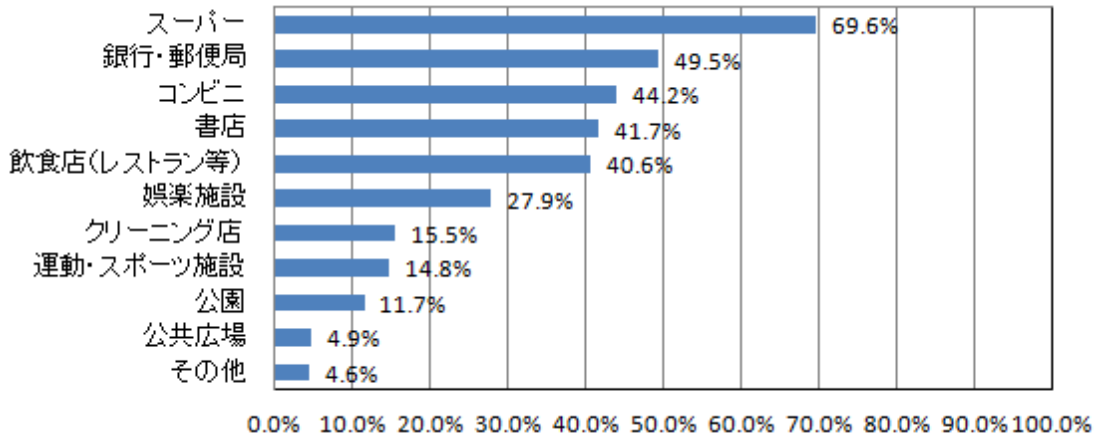
１８．居住地周辺に必要な施設

（２項目まで選択可，問１６で２～５（自宅等・その他以外）を選択した方のみ）

『自宅周辺に必要と思われる施設は何ですか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「スーパー」が 69.6%（197 人）と最も多く選ばれ、ついで「銀行・郵便局」49.5%（140 人）、コンビニ 44.2%（140 人）、書店 41.7%（118 人）であった。昨年度と比較すると、飲食店（レストラン等）の順位がやや落ちている点である。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
スーパー	197	69.6%
銀行・郵便局	140	49.5%
コンビニ	125	44.2%
書店	118	41.7%
飲食店(レストラン等)	115	40.6%
娯楽施設	79	27.9%
クリーニング店	44	15.5%
運動・スポーツ施設	42	14.8%
公園	33	11.7%
公共広場	14	4.9%
その他	13	4.6%



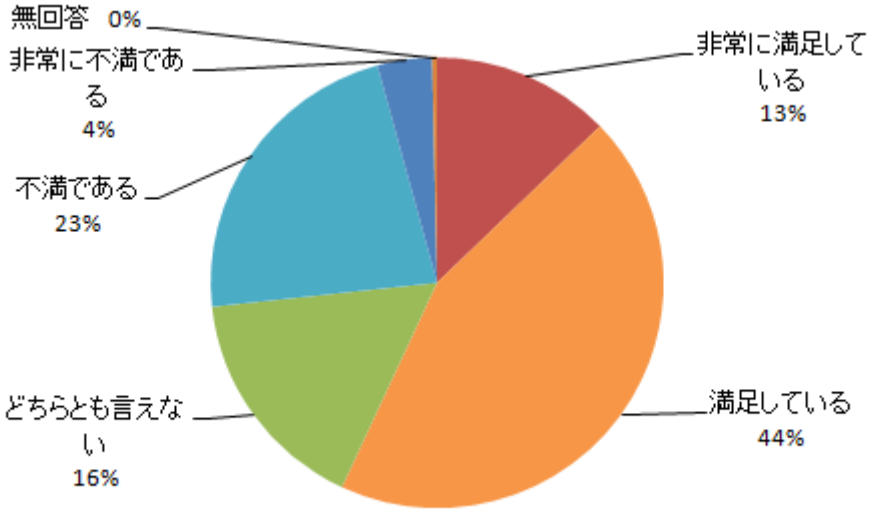
１９．居住地周辺の満足度

（２項目まで選択可，問１６で２～５（自宅等・その他以外）を選択した方のみ）

『現在の居住地の周辺環境に満足していますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「非常に満足している」、「満足している」と答えた学生は計 56.9%（160 人）であり、「非常に不満である」、「不満である」と答えた学生は計 26.3%（74 人）であった。昨年度の「非常に不満である」、「不満である」の学生割合は 35%であったので、居住環境に対する満足度はやや向上していると言える。

選択項目	回答数	構成比
非常に満足している	36	12.8%
満足している	124	44.1%
どちらとも言えない	46	16.4%
不満である	63	22.4%
非常に不満である	11	3.9%
無回答	1	0.4%
計	281	100.0%



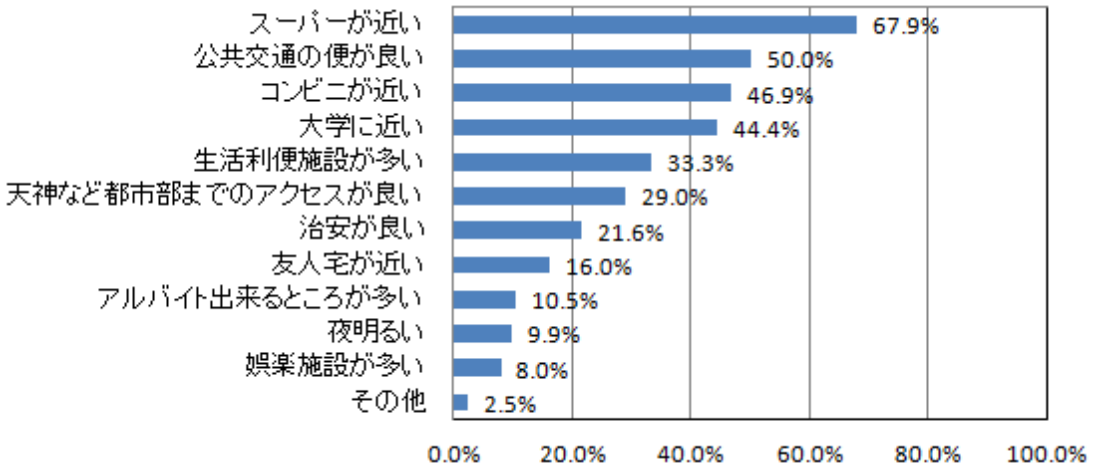
20. 周辺環境に満足している理由

（複数回答，問19で「非常に満足している」「満足している」を回答した方のみ）

『どのような点に満足していますか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「スーパーが近い」が 67.9%（110 人）と最も大きく、ついで「公共交通の便が良い」50.0%（81 人）であった。概ねこれらの評価は昨年度とあまり変わらない。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
スーパーが近い	110	67.9%
公共交通の便が良い	81	50.0%
コンビニが近い	76	46.9%
大学に近い	72	44.4%
生活利便施設が多い	54	33.3%
天神など都市部までのアクセスが良い	47	29.0%
治安が良い	35	21.6%
友人宅が近い	26	16.0%
アルバイト出来るところが多い	17	10.5%
夜明るい	16	9.9%
娯楽施設が多い	13	8.0%
その他	4	2.5%



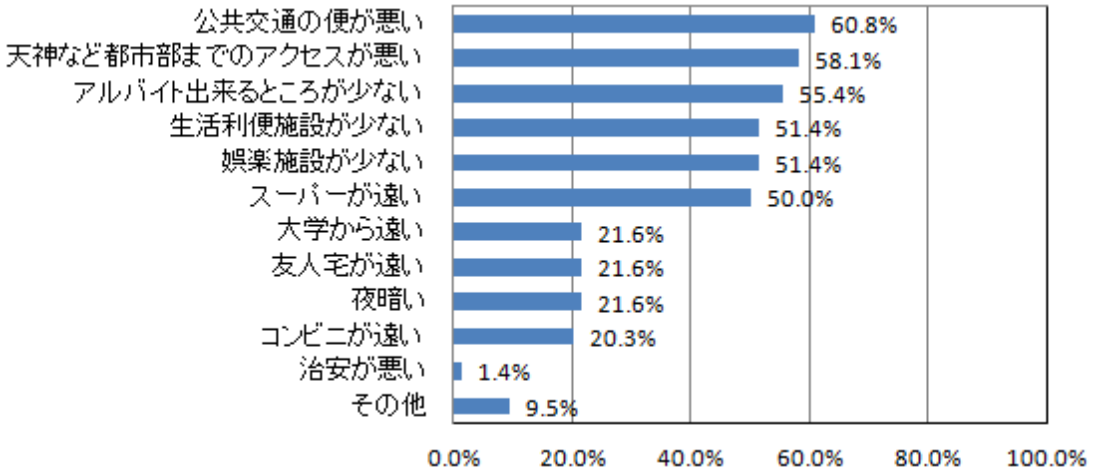
21. 周辺環境に不満な理由

（複数回答，問19で「非常に不満である」「不満である」を回答した方のみ）

『どのような点に不満を感じていますか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「公共交通の便が悪い」が 60.8%（45 人）と最も多く、ついで「天神などの都市部までのアクセスが悪い」（58.1%、43 人）、「アルバイトの出来るところが少ない」（55.4%　55.4）であり、昨年度と比較して傾向は大きく変わらない。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
公共交通の便が悪い	45	60.8%
天神など都市部までのアクセスが悪い	43	58.1%
アルバイト出来るところが少ない	41	55.4%
生活利便施設が少ない	38	51.4%
娯楽施設が少ない	38	51.4%
スーパーが遠い	37	50.0%
大学から遠い	16	21.6%
友人宅が遠い	16	21.6%
夜暗い	16	21.6%
コンビニが遠い	15	20.3%
治安が悪い	1	1.4%
その他	7	9.5%

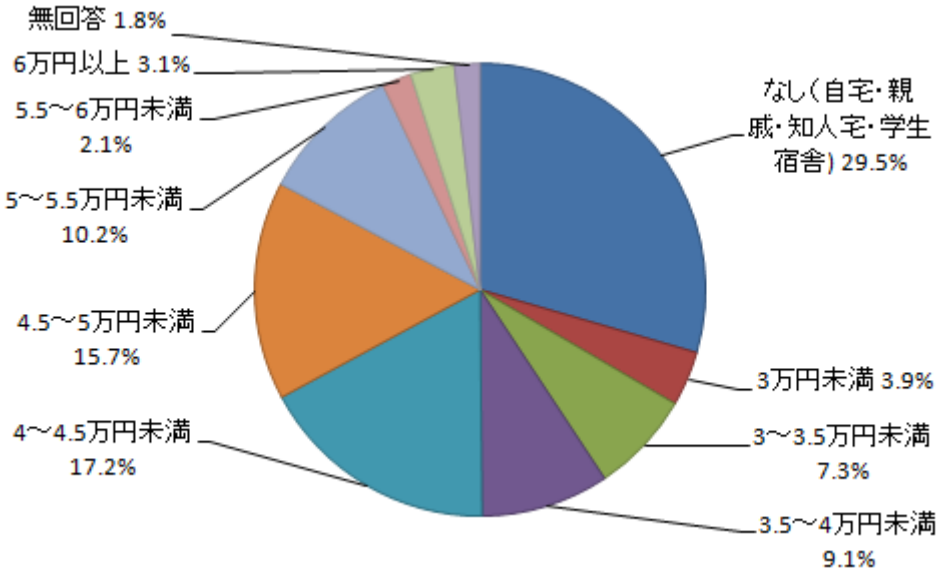


２２．住居の部屋代

『２２．一ヶ月の部屋代はいくらですか。該当する項目にチェックをして下さい。（駐車場料金、共益費は除く）』

自宅等を除くと 4～4.5 万円未満が 17.2%（66 人）と最も多く、ついで 4.5～5 万円未満が 15.7%（60 人）である。前年度と比較すると、前年よりやや安い価格帯の住宅に居住している。

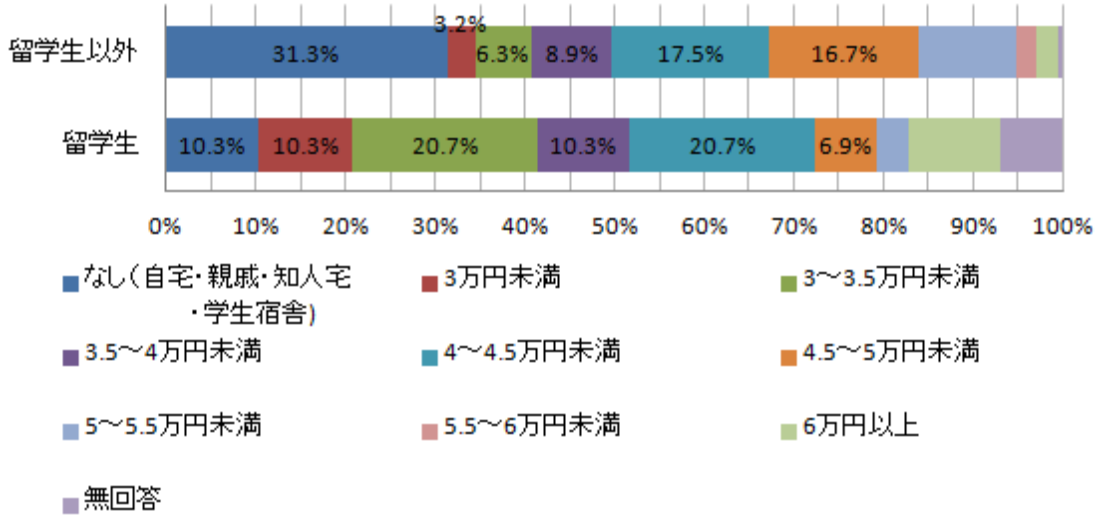
選択項目	回答数	構成比
なし（自宅・親戚・知人宅・学生宿舎）	113	29.5%
3万円未満	15	3.9%
3～3.5万円未満	28	7.3%
3.5～4万円未満	35	9.1%
4～4.5万円未満	66	17.2%
4.5～5万円未満	60	15.7%
5～5.5万円未満	39	10.2%
5.5～6万円未満	8	2.1%
6万円以上	12	3.1%
無回答	7	1.8%
計	383	100.0%



２２－１．留学生とのクロス集計

留学生は価格帯のピークが２つあり、3～3.5 万円未満と 4～4.5 万円未満が多く、ばらつきも大きい。

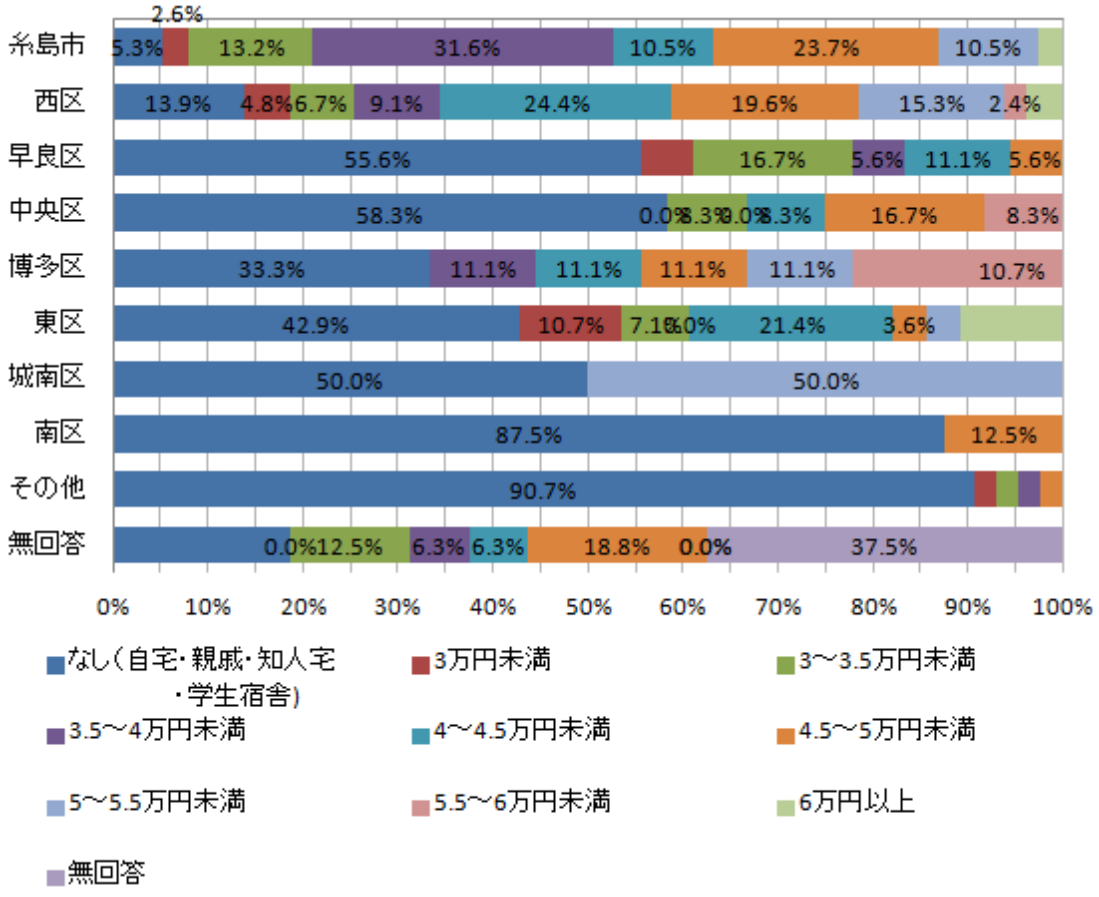
	なし（自宅・親戚・知人宅・学生宿舎）	3万円未満	3～3.5万円未満	3.5～4万円未満	4～4.5万円未満	4.5～5万円未満	5～5.5万円未満	5.5～6万円未満	6万円以上	無回答	計
留学生	3	3	6	3	6	2	1	0	3	2	29
	10.3%	10.3%	20.7%	10.3%	20.7%	6.9%	3.4%	0.0%	10.3%	6.9%	100.0%
留学生以外	109	11	22	31	61	58	38	8	8	2	348
	31.3%	3.2%	6.3%	8.9%	17.5%	16.7%	10.9%	2.3%	2.3%	0.6%	100.0%
無回答	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	6
	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	100.0%
計	113	15	28	35	67	60	39	8	12	6	383



２２－２．現在の住所とのクロス集計

糸島市で最も多い価格帯は 3.5～4 万円未満（31.6%、12 人）であり、西区で最も多い価格帯は 4～4.5 万円未満（24.4%、51 人）である。

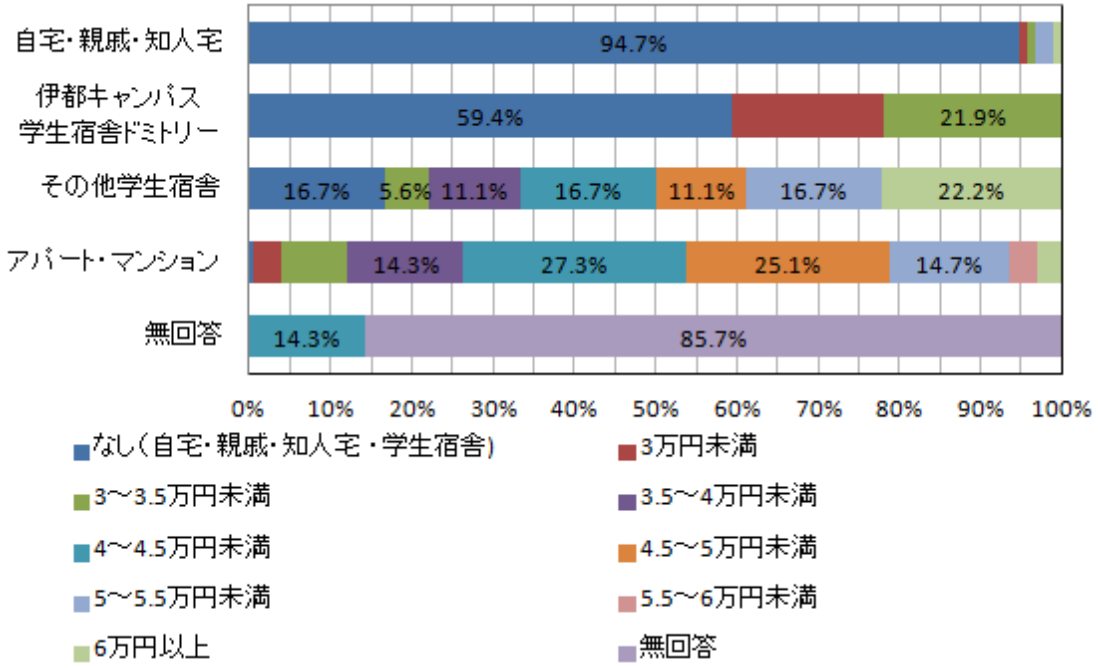
	なし（自宅・親戚・知人宅・学生宿舎）	3万円未満	3～3.5万円未満	3.5～4万円未満	4～4.5万円未満	4.5～5万円未満	5～5.5万円未満	5.5～6万円未満	6万円以上	無回答	計
糸島市	2	1	5	12	4	9	4	0	1	0	38
	5.3%	2.6%	13.2%	31.6%	10.5%	23.7%	10.5%	0.0%	2.6%	0.0%	100.0%
西区	29	10	14	19	51	41	32	5	8	0	209
	13.9%	4.8%	6.7%	9.1%	24.4%	19.6%	15.3%	2.4%	3.8%	0.0%	100.0%
早良区	10	1	3	1	2	1	0	0	0	0	18
	55.6%	5.6%	16.7%	5.6%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
中央区	7	0	1	0	1	2	0	1	0	0	12
	58.3%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%
博多区	3	0	0	1	1	1	1	2	0	0	9
	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
東区	12	3	2	0	6	1	1	0	3	0	28
	42.9%	10.7%	7.1%	0.0%	21.4%	3.6%	3.6%	0.0%	10.7%	0.0%	100.0%
城南区	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
南区	7	0	0	0	0	1	0	0	0		8
	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	39	1	1	1	0	1	0	0	0	0	43
	90.7%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	3	0	2	1	1	3	0	0	0	6	16
	18.8%	0.0%	12.5%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	100.0%
計	113	16	28	35	66	60	39	8	12	6	383



２２－３．現在の居住形態とのクロス集計

「アパート・マンション」に住んでいる学生の１ヶ月の部屋代は、「4～4.5 万円未満」が 27.3%（63 人）と最も多く、ついで「4.5～5 万円未満」が 25.1%（58 人）である。

	なし(自宅・親戚・知人宅・学生宿舎)	3万円未満	3～3.5万円未満	3.5～4万円未満	4～4.5万円未満	4.5～5万円未満	5～5.5万円未満	5.5～6万円未満	6万円以上	無回答	計
自宅・親戚・知人宅	90	1	1	0	0	0	2	0	1	0	95
	94.7%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	1.1%	0.0%	100.0%
伊都キャンパス	19	6	7	0	0	0	0	0	0	0	32
	59.4%	18.8%	21.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他学生宿舎	3	0	1	2	3	2	3	0	4	0	18
	16.7%	0.0%	5.6%	11.1%	16.7%	11.1%	16.7%	0.0%	22.2%	0.0%	100.0%
国際交流会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アパート・マンション	1	8	19	33	63	58	34	8	7	0	231
	0.4%	3.5%	8.2%	14.3%	27.3%	25.1%	14.7%	3.5%	3.0%	0.0%	100.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無回答	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	7
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	100.0%
計	113	15	28	35	67	60	39	8	12	6	383

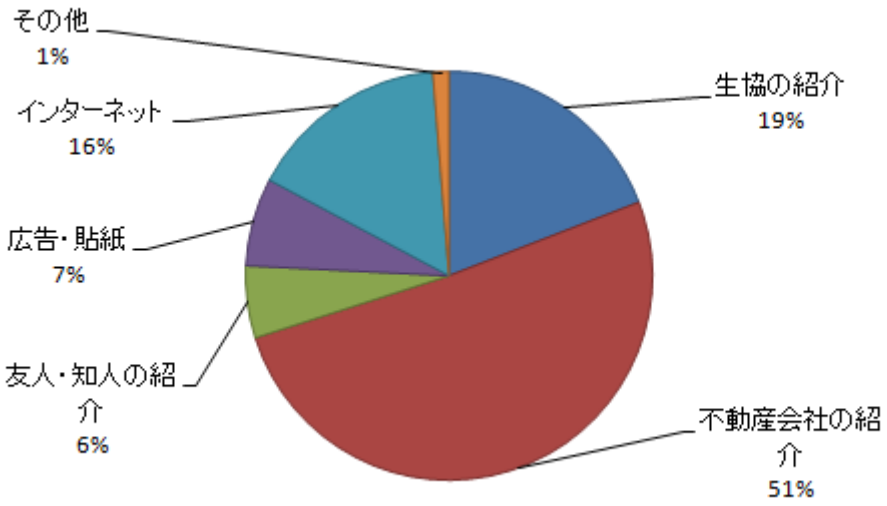


２３．現在の住居を探した方法（問２２で２～９（「部屋代なし）以外）を選択した方のみ）

『問２２で『なし（自宅・親戚・知人宅）・学生寄宿舎』以外を選択した方にお尋ねします。現在の居住は主にどのようにして探しましたか。該当する項目にチェックをして下さい。』

住居の探し方では、不動産会社が 51.0%（80 人）と最も多く、ついで生協の紹介が 19.1%（30 人）であった。昨年度の結果と比較すると、友人の紹介、広告・貼紙、インターネットがそれぞれ増加し、生協の割合が若干減少している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
生協の紹介	30	19.1%
不動産会社の紹介	80	51.0%
友人・知人の紹介	9	5.7%
広告・貼紙	11	7.0%
インターネット	25	15.9%
その他	2	1.3%

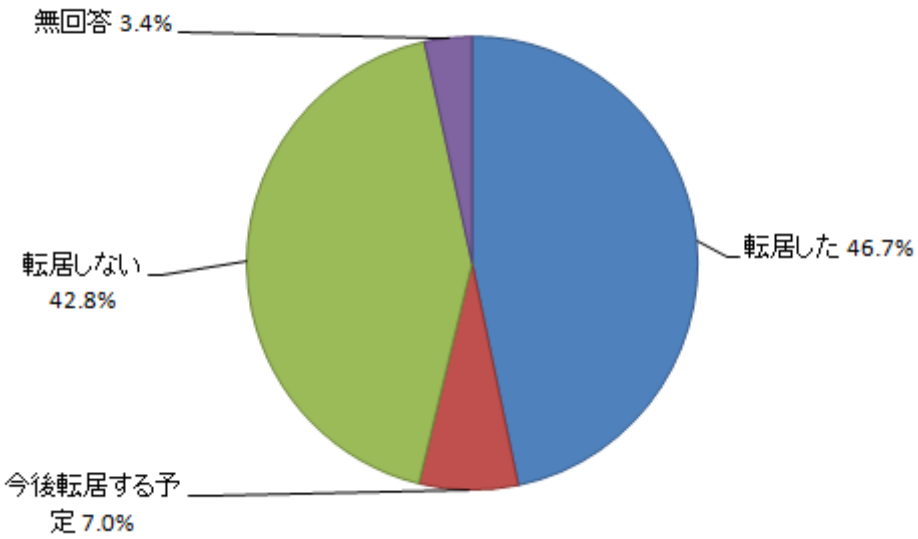


２４．伊都キャンパス移転に伴う転居について

『伊都キャンパスへ通学するために、転居しましたか。もしくは、今後、転居しますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

転居済みの学生が 46.7%（179 人）で最も多いが、転居しない学生も 42.8%（164 人）と多く、前年度の結果に比べ、転居しないが学生の割合が増加している。

選択項目	回答数	構成比
転居した	179	46.7%
今後転居する予定	27	7.0%
転居しない	164	42.8%
無回答	13	3.4%
計	383	100.0%

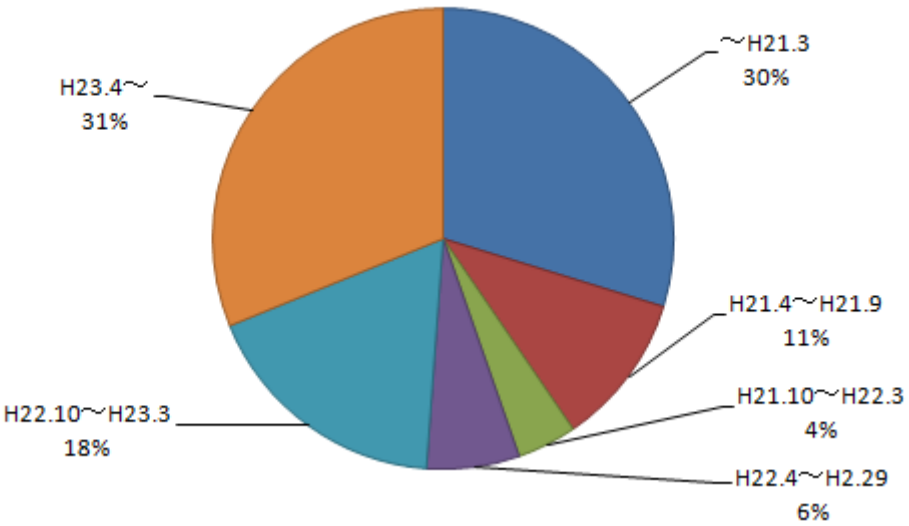


２５．転居時期（問２４で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『問 24 で１，２を選択した方にお尋ねします。転居した又は転居を予定している時期について、該当する項目にチェックをして下さい。』

平成 23 年 4 月以前の学生が 31.2%と最も多い。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
平成21年3月以前	64	29.8%
平成21年4月から 平成21年9月までの間	23	10.7%
平成21年10月から 平成22年3月までの間	9	4.2%
平成22年4月から 平成22年9月までの間	14	6.5%
平成22年10月から 平成23年3月までの間	38	17.7%
平成23年4月以降	67	31.2%

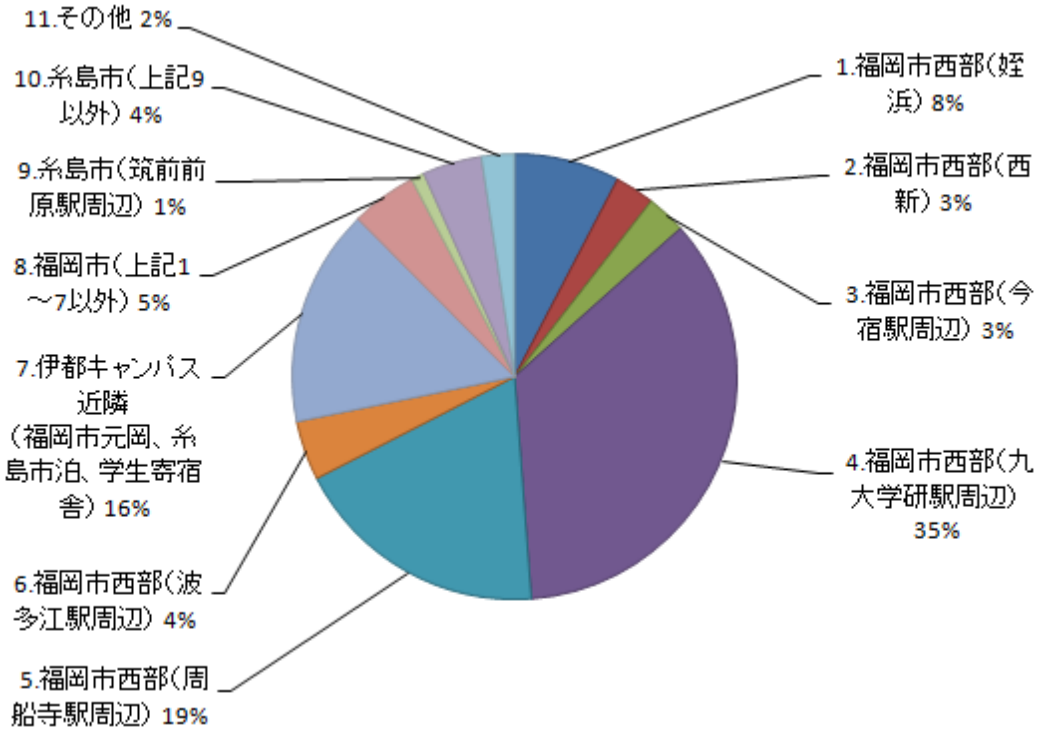


２６．転居エリア（問２４で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『問 24 で１，２を選択した方にお尋ねします。転居した又は転居を希望するエリアについて、該当する項目にチェックをして下さい。』

福岡市西部（九大学研駅周辺）が 35.4%（74 人）と最も多く、ついで福岡市西部（周船寺駅周辺）が 18.7%（39 人）、伊都キャンパス近隣が 15.8%（33 人）である。昨年度と比較すると、福岡市西部（周船寺駅周辺）が大きく減少し、福岡市西部（九大学研駅周辺）と伊都キャンパス近隣が大きく割合を伸ばしている。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
1.福岡市西部(姪浜)	16	7.7%
2.福岡市西部(西新)	6	2.9%
3.福岡市西部(今宿駅周辺)	6	2.9%
4.福岡市西部(九大学研駅周辺)	74	35.4%
5.福岡市西部(周船寺駅周辺)	39	18.7%
6.福岡市西部(波多江駅周辺)	9	4.3%
7.伊都キャンパス近隣 (福岡市元岡、糸島市泊、学生寄宿舎)	33	15.8%
8.福岡市(上記1～7以外)	10	4.8%
9.糸島市(筑前前原駅周辺)	2	1.0%
10.糸島市(上記9以外)	9	4.3%
11.その他	5	2.4%

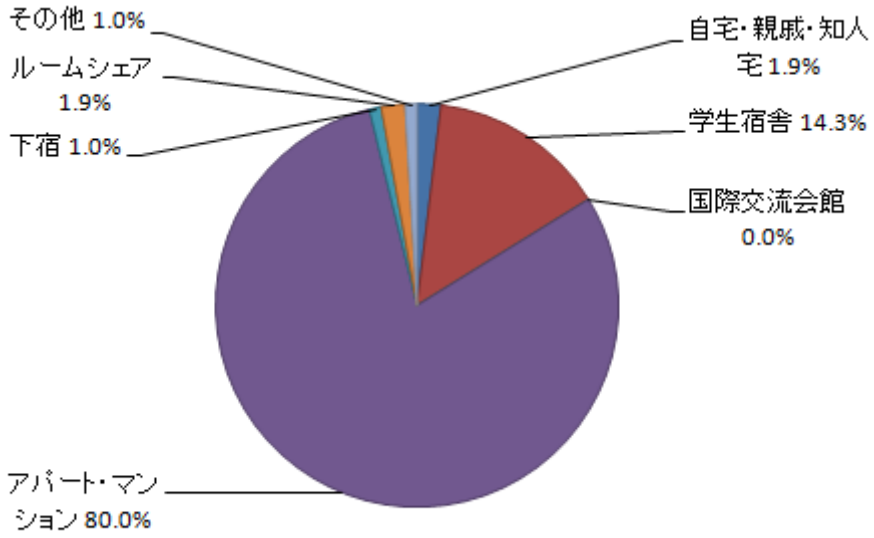


２７．希望の居住形態（問２４で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『問 24 で１，２を選択した方にお尋ねします。転居した又は転居を希望する居住形態について、該当する項目にチェックをして下さい。』

転居した又は転居を希望する住居形態は「アパート・マンション」が 80.0%（168 人）と最も多い。昨年度と比較すると、学生宿舎の割合が増加している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
自宅･親戚･知人宅	4	1.9%
学生宿舎	30	14.3%
国際交流会館	0	0.0%
アパート･マンション	168	80.0%
下宿	2	1.0%
ルームシェア	4	1.9%
その他	2	1.0%



２８．ルームシェアタイプの居住

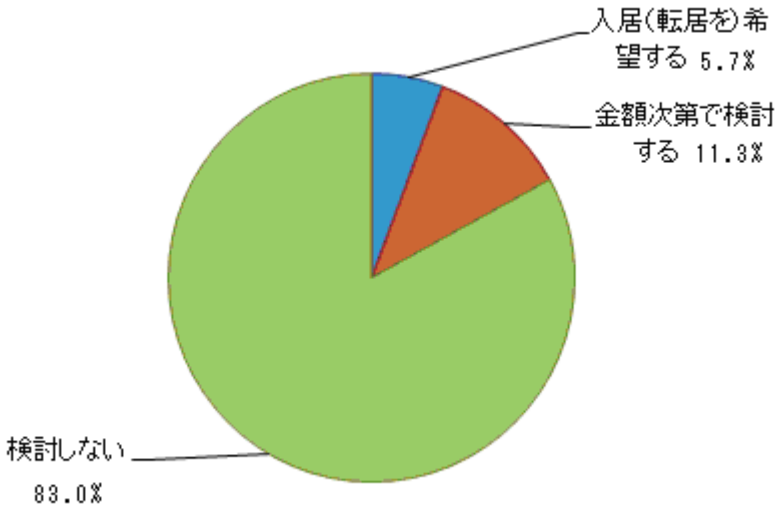
（問２４で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『問 24 で１，２を選択した方にお尋ねします。ルームシェアタイプの住居への入居（転居）を検討しますか。（部屋のみ専有で、台所、洗面等は共同）　該当する項目にチェックをして下さい。』

入居（転居を）を検討または金額次第で検討する者は計 36 人（回答者全体 212 人に対する割合は 17%）であった。金額は 2～4 万円を想定している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
入居(転居を)希望する	12	5.7%
金額次第で検討する	24	11.3%
検討しない	176	83.0%

検討する金額	回答数
1万円未満	1
1～2万円未満	4
2～3万円未満	7
3～4万円未満	6
4～5万円未満	0
5万円以上	1

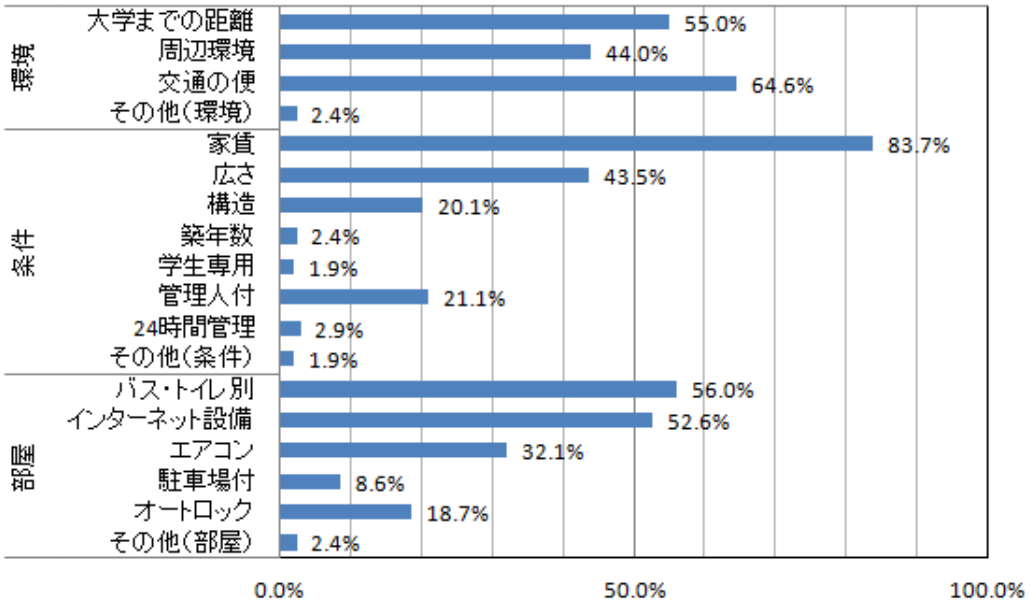


２９．転居の際の注意事項（問２４で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『問 24 で１，２を選択した方にお尋ねします。転居の際、重視する（した）項目はどれですか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「家賃」を選択した学生が 83.7%（175 人）と最も多く、ついで「交通の便」（64.6%、135 人）、「バス・トイレ別」（56.0%、117 人）である。昨年度の結果と比較すると、「交通の便」と「管理人付」が大きく増加している。

選択項目		回答数	回答者全体に対する割合
環境	大学までの距離	115	55.0%
	周辺環境	92	44.0%
	交通の便	135	64.6%
	その他(環境)	5	2.4%
条件	家賃	175	83.7%
	広さ	91	43.5%
	構造	42	20.1%
	築年数	5	2.4%
	学生専用	4	1.9%
	管理人付	44	21.1%
	24時間管理	6	2.9%
	その他(条件)	4	1.9%
部屋	バス・トイレ別	117	56.0%
	インターネット設備	110	52.6%
	エアコン	67	32.1%
	駐車場付	18	8.6%
	オートロック	39	18.7%
	その他(部屋)	5	2.4%

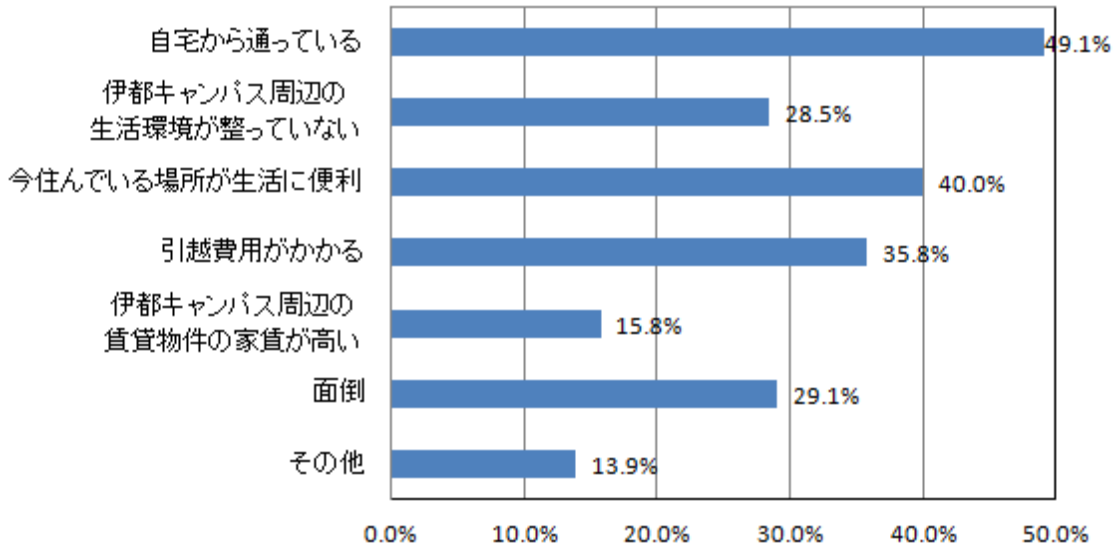


３０．転居しない理由（問２４で「転居しない」と選択した方のみ）

『問 24 で 3 を選択した方にお尋ねします。転居をしない理由について、該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

転居しない理由は、「自宅から通っている」が 49.1%（81 人）と最も多く、ついで「今住んでいる場所が生活に便利」が 40.0%（66 人）である。昨年度と比較すると、「伊都キャンパス周辺の生活環境が整っていない」の回答割合が減少している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
自宅から通っている	81	49.1%
伊都キャンパス周辺の生活環境が整っていない	47	28.5%
今住んでいる場所が生活に便利	66	40.0%
引越費用がかかる	59	35.8%
伊都キャンパス周辺の賃貸物件の家賃が高い	26	15.8%
面倒	48	29.1%
その他	23	13.9%

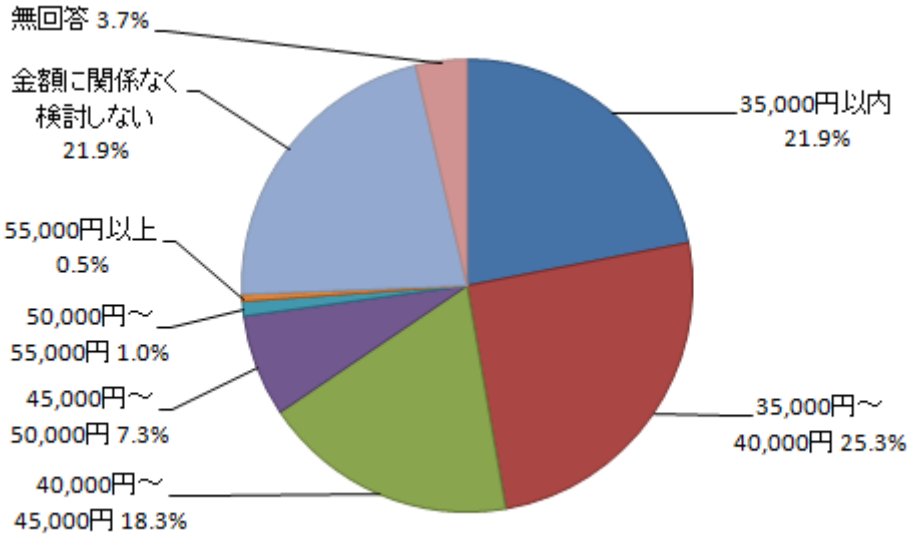


３１．民間賃貸物件の検討

『民家賃貸物件について、月額家賃がいくらであれば入居（転居）を検討しますか。
該当する項目にチェックをして下さい。（ワンルーム標準タイプ（バストイレ付）で新築又は築年数 5 年以内の新しい物件の場合）』

35,000 円～40,000 円であれば検討するという回答が最も多く、25.3%（97 人）であった。
昨年度の結果に比較し、大きな変化はない。

選択項目	回答数	構成比
35,000円以内	84	21.9%
35,000円～40,000円	97	25.3%
40,000円～45,000円	70	18.3%
45,000円～50,000円	28	7.3%
50,000円～55,000円	4	1.0%
55,000円以上	2	0.5%
金額に関係なく検討しない	84	21.9%
無回答	14	3.7%
計	383	100.0%

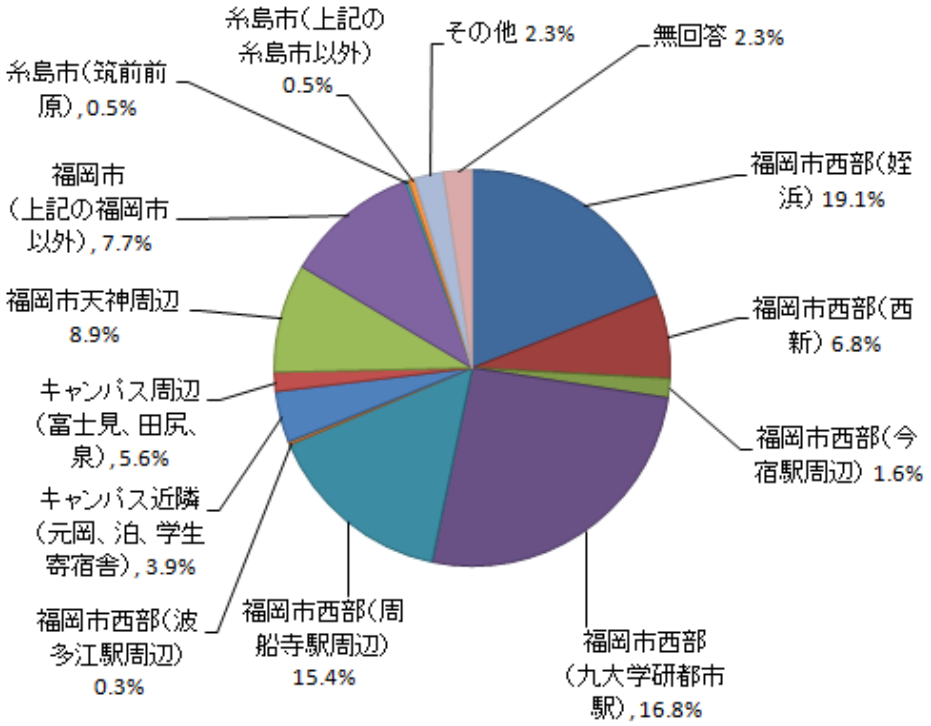


３２．転居希望エリア

『すべての方にお尋ねします。転居に要する費用や手間は無視する場合、あなたは新たに転居するとしたらどのエリアに居住したいですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

福岡市西部（九大学研都市駅周辺）が 25.8%（99 人）と最も多く、ついで福岡市西部（姪浜）が 19.1%（73 人）である。昨年度の結果と比較すると、福岡市西部（九大学研都市駅周辺）の値が大きく上昇し、福岡市西部（周船寺駅周辺）が減少している。

選択項目	回答数	構成比
福岡市西部(姪浜)	73	19.1%
福岡市西部(西新)	26	6.8%
福岡市西部(今宿駅周辺)	6	1.6%
福岡市西部(九大学研都市駅周辺)	99	25.8%
福岡市西部(周船寺駅周辺)	59	15.4%
福岡市西部(波多江駅周辺)	1	0.3%
伊都キャンパス近隣(福岡市元岡、糸島市泊、学生寄宿舎)	16	4.2%
伊都キャンパス周辺(福岡市富士見、田尻、泉)	6	1.6%
福岡市天神周辺	34	8.9%
福岡市(上記の福岡市以外)	42	11.0%
糸島市(筑前前原駅周辺)	1	0.3%
糸島市(上記の糸島市以外)	2	0.5%
その他	9	2.3%
無回答	9	2.3%
計	383	100.0%

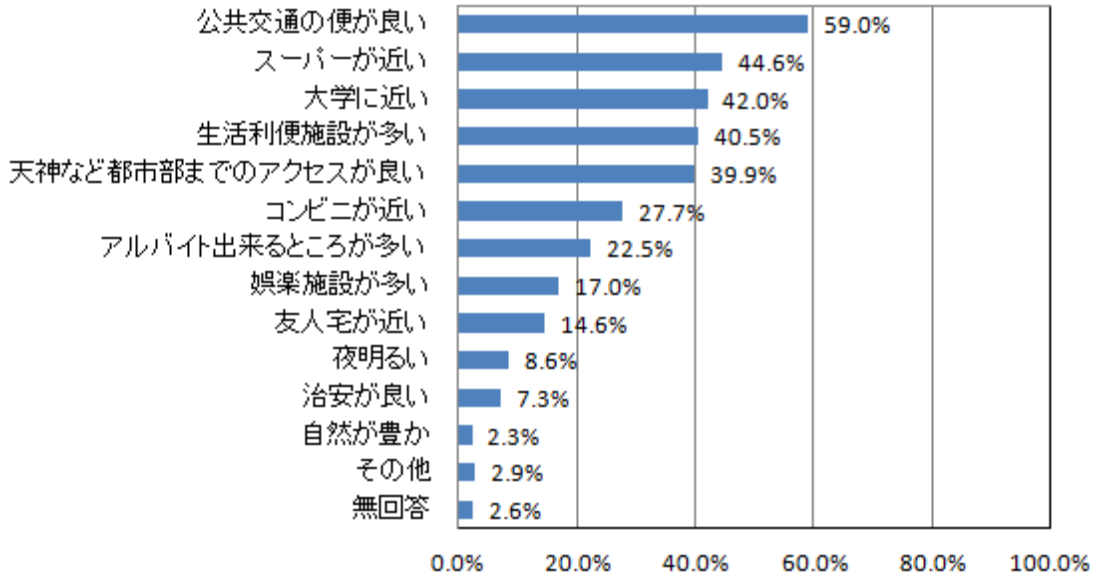


３３．転居希望エリアの理由

『問３２について、なぜその場所を選びましたか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「公共交通の便が良い」が最も多く 59.0%（226 人）であった。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
公共交通の便が良い	226	59.0%
スーパーが近い	171	44.6%
大学に近い	161	42.0%
生活利便施設が多い	155	40.5%
天神など都市部までのアクセスが良い	153	39.9%
コンビニが近い	106	27.7%
アルバイト出来るところが多い	86	22.5%
娯楽施設が多い	65	17.0%
友人宅が近い	56	14.6%
夜明るい	33	8.6%
治安が良い	28	7.3%
自然が豊か	9	2.3%
その他	11	2.9%
無回答	10	2.6%



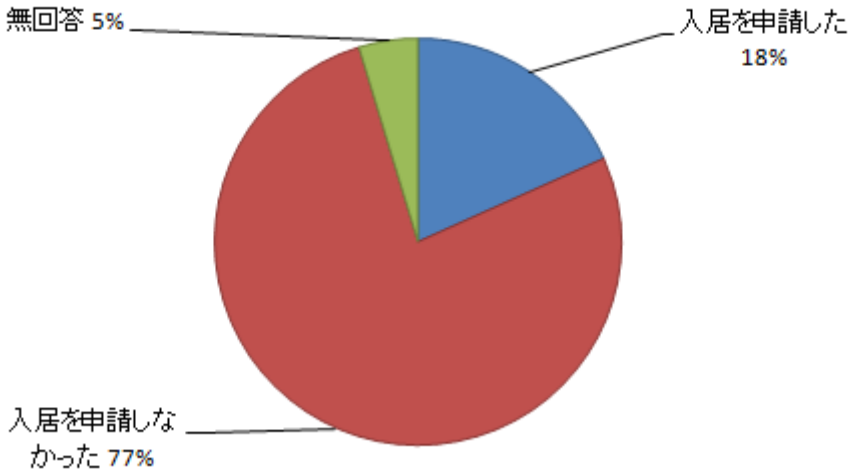
〈学生寄宿舎について〉

３４．ドミトリーへの入居申請の有無

『ドミトリーに入居を申請しましたか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「入居を申請した」が 18.3%（70 人）、「入居を申請しなかった」が 77%（295 人）である。昨年度と比較して、「入居を申請した」が若干増加している。

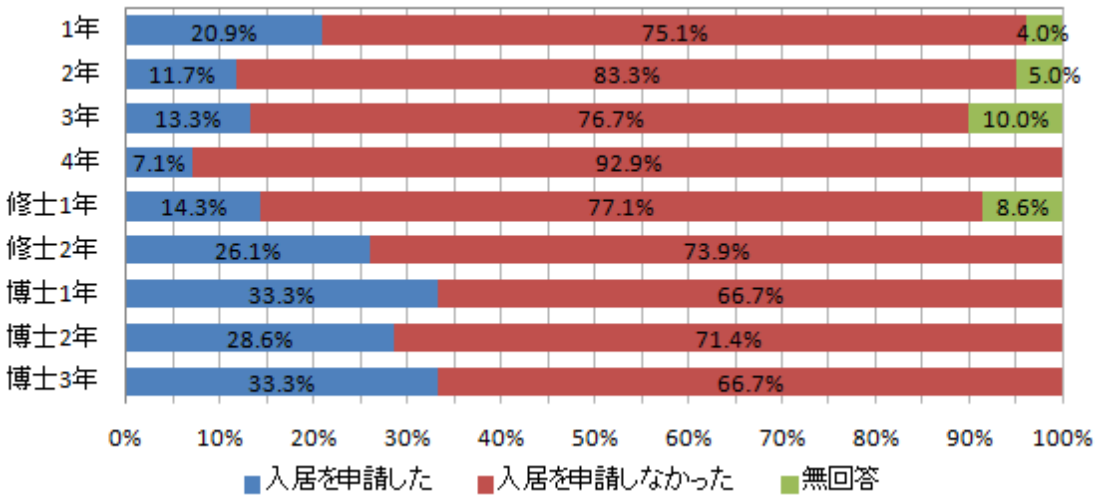
選択項目	回答数	構成比
入居を申請した	70	18.3%
入居を申請しなかった	295	77.0%
無回答	18	4.7%
計	383	100.0%



34－1. 学年とのクロス集計

入居を希望している学部生は１年生が 20.9%（37 人）と最も多く、学年が上がるにつれて入居の希望割合が減少する。一方、修士と博士課程に着目すると、学部生とは対象的に学年が上がるにつれて、入居の希望割合も増加する傾向にある。

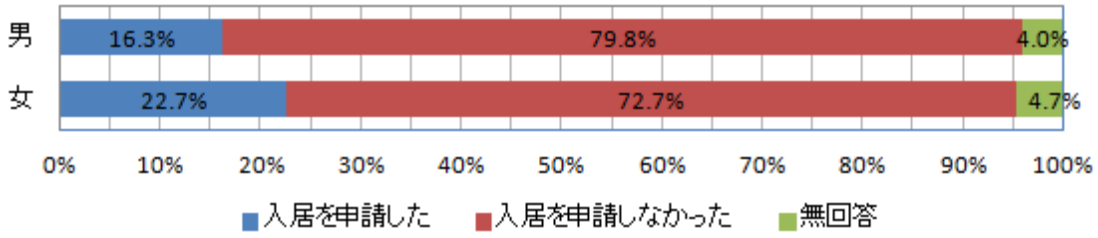
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
1年	37	133	7	177
	20.9%	75.1%	4.0%	100.0%
2年	7	50	3	60
	11.7%	83.3%	5.0%	100.0%
3年	4	23	3	30
	13.3%	76.7%	10.0%	100.0%
4年	2	26	0	28
	7.1%	92.9%	0.0%	100.0%
修士1年	5	27	3	35
	14.3%	77.1%	8.6%	100.0%
修士2年	6	17	0	23
	26.1%	73.9%	0.0%	100.0%
博士1年	4	8	0	12
	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%
博士2年	2	5	0	7
	28.6%	71.4%	0.0%	100.0%
博士3年	2	4	0	6
	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%
研究生等	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	0	2	2	4
	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%
計	70	295	18	383



34－2. 性別とのクロス集計

性差に着目すると、女性のほうが男性に比べて、入居を申請した割合がやや高かった。

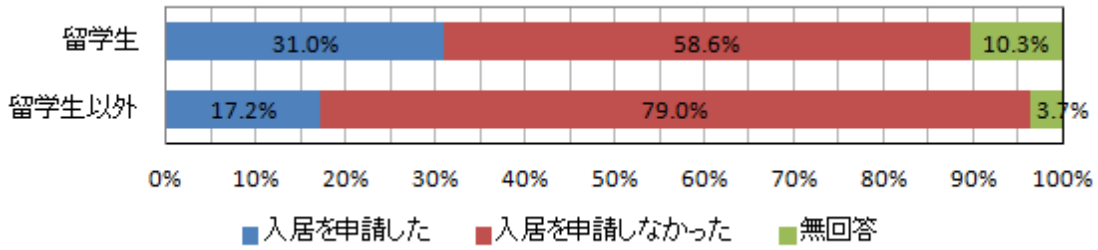
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
男	41	201	10	252
	16.3%	79.8%	4.0%	100.0%
女	29	93	6	128
	22.7%	72.7%	4.7%	100.0%
無回答	0	1	2	3
	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%
計	70	295	18	383



34－3. 留学生とのクロス集計

入居を希望した留学生は 31.0%（9 人）と留学生以外よりも割合が高かった。

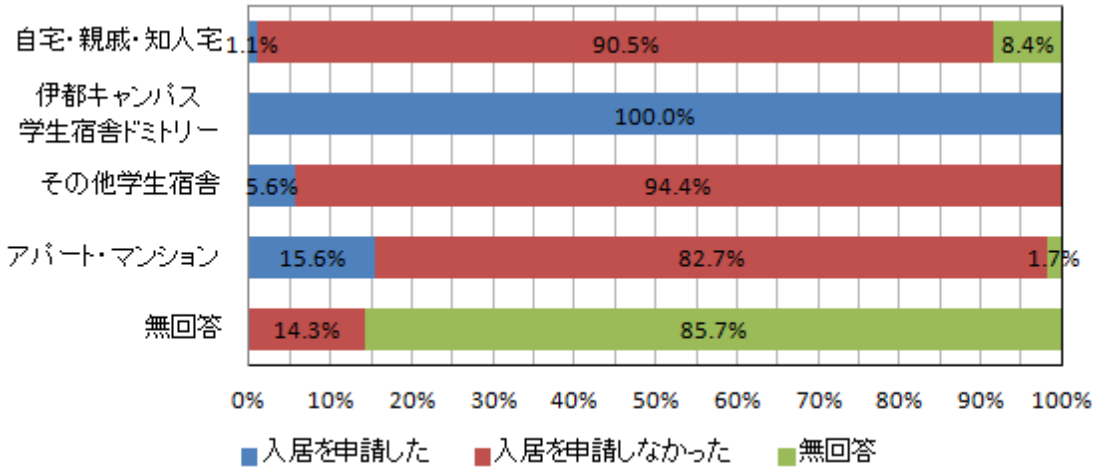
	入居を申請し	入居を申請し	無回答	計
留学生	9	17	3	29
	31.0%	58.6%	10.3%	100.0%
留学生以外	60	275	13	348
	17.2%	79.0%	3.7%	100.0%
無回答	1	3	2	6
	16.7%	50.0%	33.3%	100.0%
計	70	295	18	383



34－4. 現在の居住形態とのクロス集計

現在、「アパート・マンション」に入居している者のうち、ドミトリーへの入居を申請した者は 15.6%（36 人）であった。昨年度の結果と比較すると、「アパート・マンション」に入居している者のうち、ドミトリーへの入居を申請した者の割合は若干増加している。

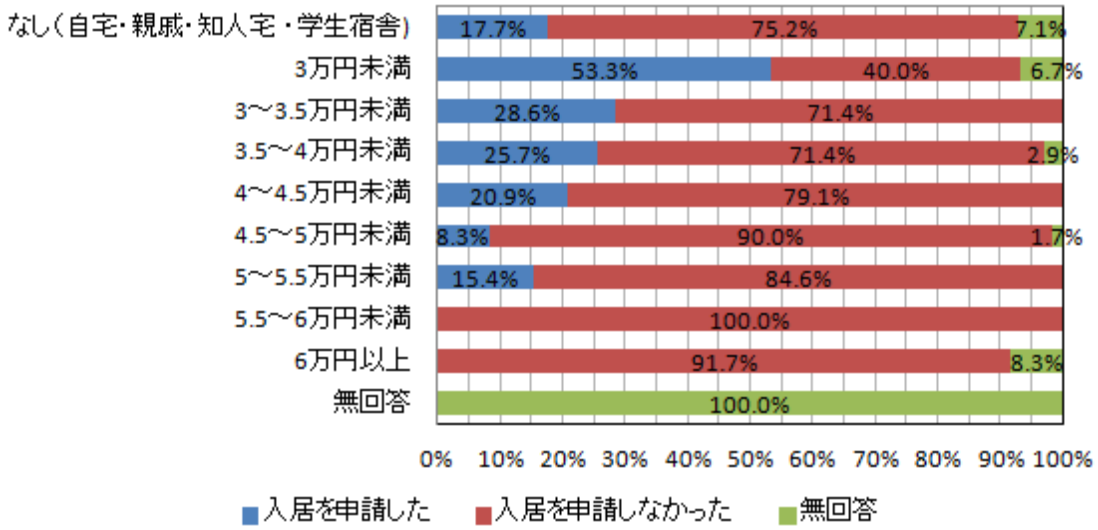
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
自宅・親戚・知人宅	1	86	8	95
	1.1%	90.5%	8.4%	100.0%
伊都キャンパス学生宿舎ドミトリー	32	0	0	32
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他学生宿舎	1	17		18
	5.6%	94.4%	0.0%	100.0%
国際交流会館	0	0	0	0
	－	－	－	－
アパート・マンション	36	191	4	231
	15.6%	82.7%	1.7%	100.0%
その他	0	0	0	0
	－	－	－	－
無回答	0	1	6	7
	0.0%	14.3%	85.7%	100.0%
計	70	295	18	383



34－5. 住居の部屋代とのクロス集計

家賃が 3 万円未満の学生で、入居を申請したのは 53.3%（8 人）であった。昨年度の結果と比較すると、その割合は大きく増加している。

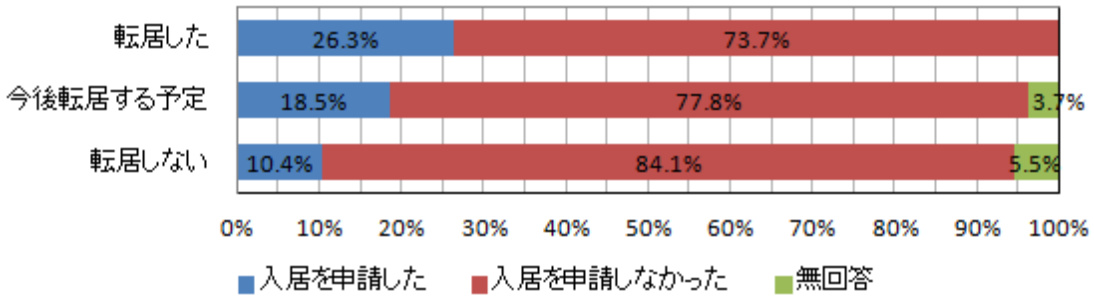
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
なし（自宅・親戚・知人宅・学生宿舎）	20	85	8	113
	17.7%	75.2%	7.1%	100.0%
3万円未満	8	6	1	15
	53.3%	40.0%	6.7%	100.0%
3～3.5万円未満	8	20	0	28
	28.6%	71.4%	0.0%	100.0%
3.5～4万円未満	9	25	1	35
	25.7%	71.4%	2.9%	100.0%
4～4.5万円未満	14	53	0	67
	20.9%	79.1%	0.0%	100.0%
4.5～5万円未満	5	54	1	60
	8.3%	90.0%	1.7%	100.0%
5～5.5万円未満	6	33	0	39
	15.4%	84.6%	0.0%	100.0%
5.5～6万円未満	0	8	0	8
	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
6万円以上	0	11	1	12
	0.0%	91.7%	8.3%	100.0%
無回答	0	0	6	6
	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
計	70	295	18	383



34－6. 転居希望者とのクロス集計

転居したと答えた者の 26.3%（47 人）が入居を希望した。昨年度の結果と比較すると、その割合は大きく増加している。

	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
転居した	47	132	0	179
	26.3%	73.7%	0.0%	100.0%
今後転居する予定	5	21	1	27
	18.5%	77.8%	3.7%	100.0%
転居しない	17	138	9	164
	10.4%	84.1%	5.5%	100.0%
無回答	1	4	8	13
	7.7%	30.8%	61.5%	100.0%
計	70	295	18	383

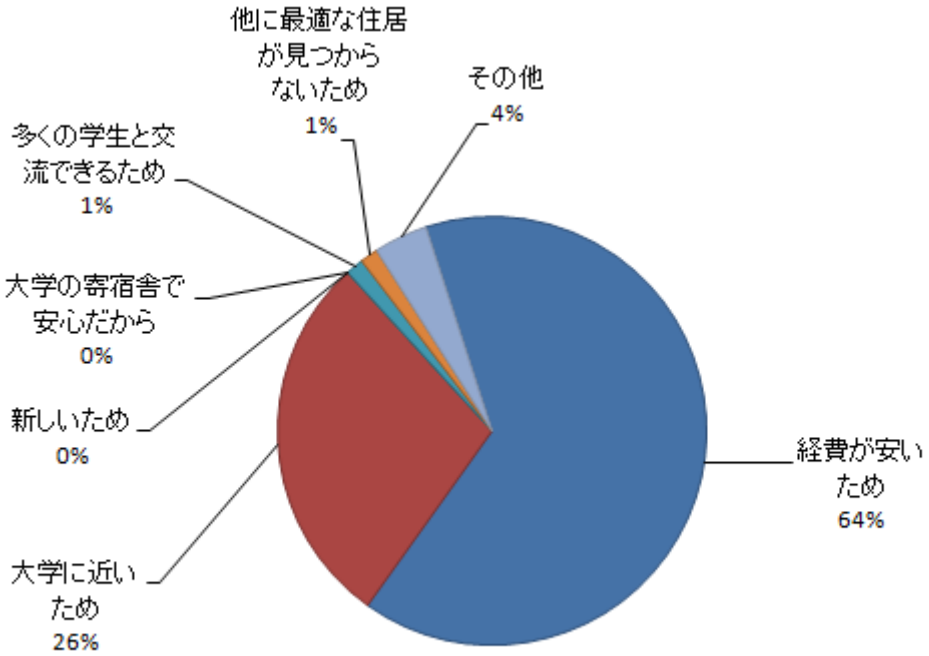


35. 入居を申請した理由（問23で「入居を申請した」を選択した方のみ）

『問３４でドミトリーに『入居を申請した』を選択した方にお尋ねします。入居を申請した理由について、該当する項目に一つだけチェックをして下さい。』

「経費が安いため」が 64.9%（48 人）と最も多く、ついで「大学に近いため」が 28.4%（21 人）である。本年度の結果は昨年度とほぼ変わらない。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
経費が安いため	48	64.9%
大学に近いため	21	28.4%
新しいため	0	0.0%
大学の寄宿舎で安心だから	0	0.0%
多くの学生と交流できるため	1	1.4%
他に最適な住居が見つからないため	1	1.4%
その他	3	4.1%

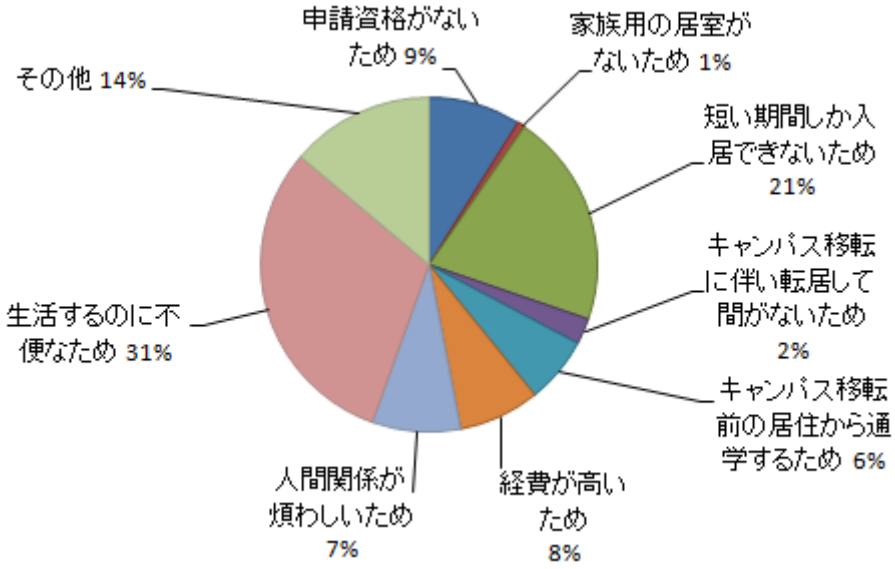


36. 入居を申請しなかった理由（問23で「入居を申請しなかった」を選択した方のみ）

『問３４でドミトリーに『入居を申請しなかった』を選択した方にお尋ねします。入居を申請しなかった（できなかった）理由について、該当する項目にチェックをして下さい。』

「生活するのに不便なため」が 30.6%（86 人）と最も高く、ついで「短い期間しか入居できないため」が 20.6%（58 人）である。本年度の結果は昨年度とほぼ変わらない。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
申請資格がないため	25	8.9%
家族用の居室がないため	2	0.7%
短い期間しか入居できないため	58	20.6%
キャンパス移転に伴い転居して間がないため	7	2.5%
キャンパス移転前の居住から通学するため	18	6.4%
経費が高いため	22	7.8%
人間関係が煩わしいため	24	8.5%
生活するのに不便なため	86	30.6%
その他	39	13.9%



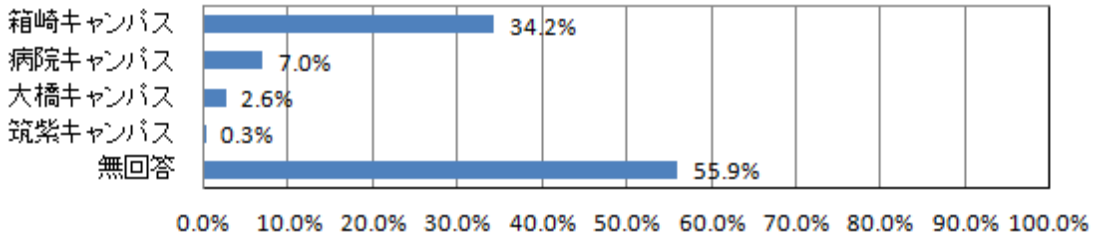
〈キャンパスでの生活について〉

37. 伊都キャンパス以外で授業を受けているキャンパス（複数回答）

『伊都キャンパス以外で授業を受けているのは、どのキャンパスですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

無回答が 55.9%（214 人）であり、伊都キャンパス以外のキャンパスで授業を受けていない学生が最も多いと思われる。無回答以外では箱崎キャンパスが 34.2%（131 人）と多い。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
箱崎キャンパス	131	34.2%
病院キャンパス	27	7.0%
大橋キャンパス	10	2.6%
筑紫キャンパス	1	0.3%
無回答	214	55.9%

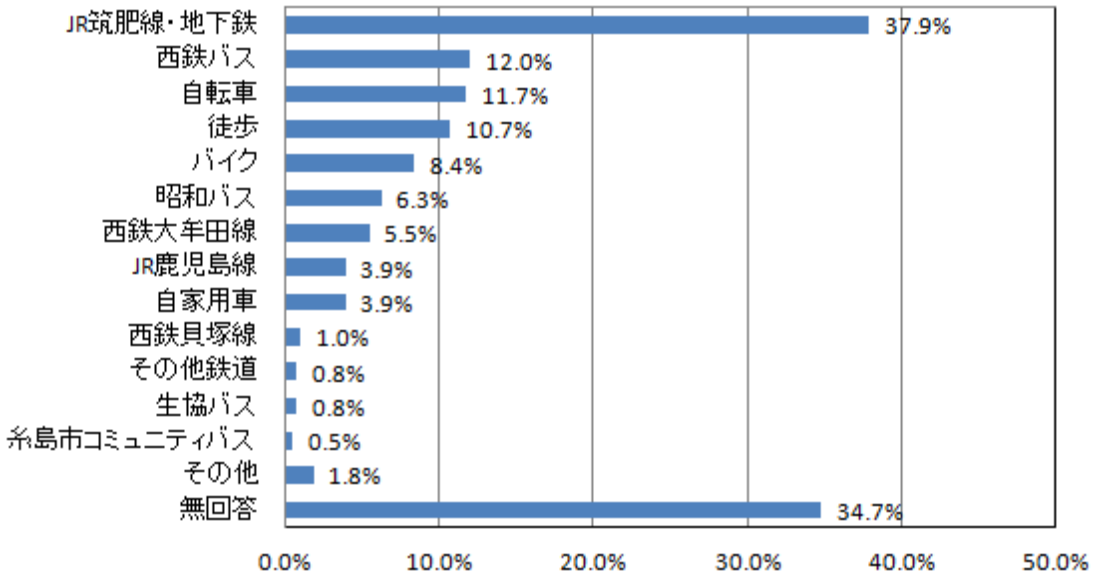


38. 伊都キャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法（複数回答）

『伊都キャンパス以外のキャンパスへの主な交通手段は何ですか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数回答可）』

問 37 と同様に無回答の割合が多い。これは他のキャンパスに通学していないためであると考えられる。無回答以外では、JR 筑前線・地下鉄が最も多く 37.9%（145 人）である。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
JR筑肥線・地下鉄	145	37.9%
西鉄バス	46	12.0%
自転車	45	11.7%
徒歩	41	10.7%
バイク	32	8.4%
昭和バス	24	6.3%
西鉄大牟田線	21	5.5%
JR鹿児島線	15	3.9%
自家用車	15	3.9%
西鉄貝塚線	4	1.0%
その他鉄道	3	0.8%
生協バス	3	0.8%
糸島市コミュニティバス	2	0.5%
その他	7	1.8%
無回答	133	34.7%

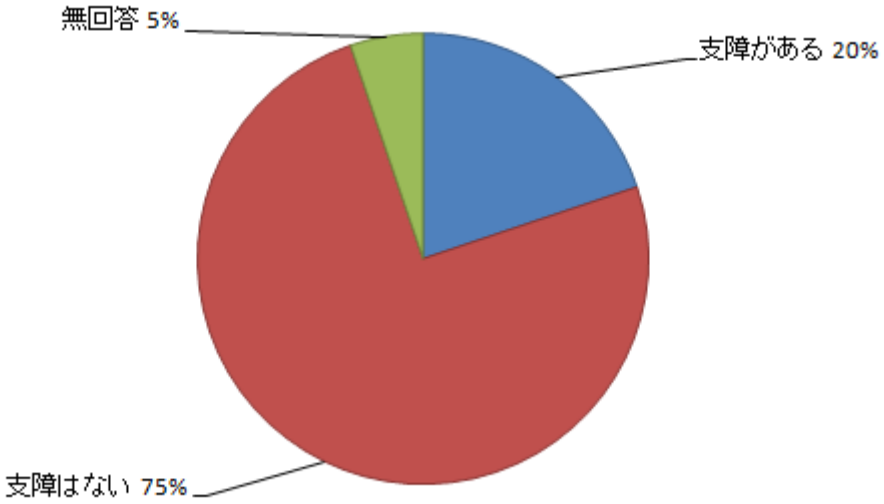


39. 自動車入構の有料化に伴う生活への影響

『伊都キャンパス構内への自動車での入構が有料になりましたが、生活に支障がありますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「生活に支障がある」は 19.8%（76 人）で、「支障はない」は 74.9%（287 人）である。問 12 において車を所有していると答えた学生を見てみると、63.2%（24 人）が「支障がある」と答えている。昨年度と比較すると、「生活に支障はない」と答えた学生の割合は増加している。

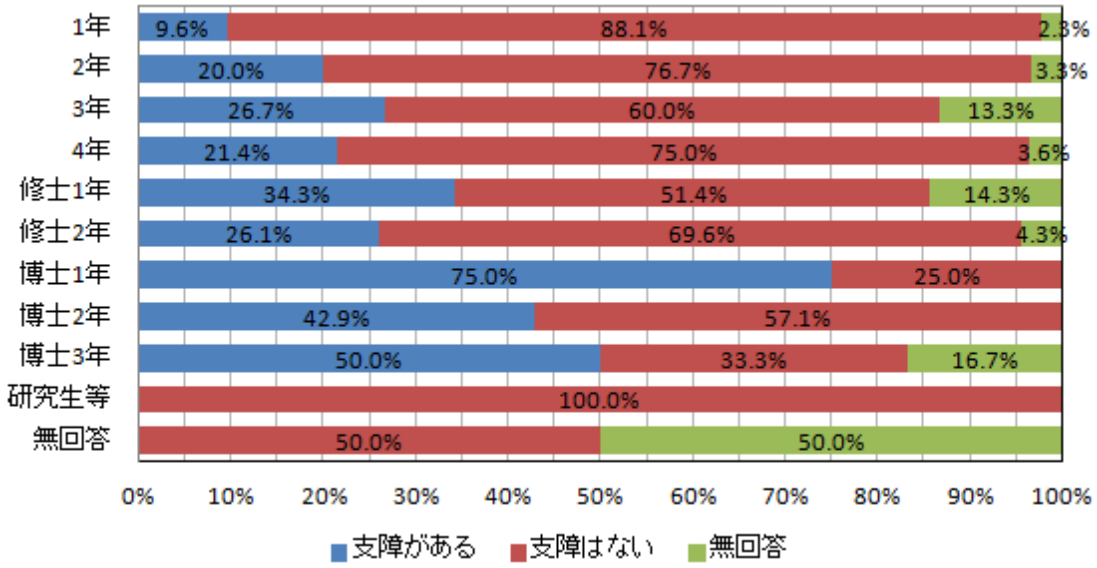
選択項目	回答数	構成比	車所有者(38人)の回答	
			回答数	構成比
支障がある	76	19.8%	24	63.2%
支障はない	287	74.9%	12	31.6%
無回答	20	5.2%	2	5.3%
計	383	100.0%	38	100.0%



39－1. 学年とのクロス集計

「生活に支障がない」と答えた割合が最も高いのは、学部１年生で 88.1%（156 人）である。一方、「支障がある」と答えた割合は学年が上がるにつれ増加傾向にあり、博士課程の学生においてその値は高い。

	支障がある	支障はない	無回答	計
1年	17	156	4	177
	9.6%	88.1%	2.3%	100.0%
2年	12	46	2	60
	20.0%	76.7%	3.3%	100.0%
3年	8	18	4	30
	26.7%	60.0%	13.3%	100.0%
4年	6	21	1	28
	21.4%	75.0%	3.6%	100.0%
修士1年	12	18	5	35
	34.3%	51.4%	14.3%	100.0%
修士2年	6	16	1	23
	26.1%	69.6%	4.3%	100.0%
博士1年	9	3	0	12
	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%
博士2年	3	4	0	7
	42.9%	57.1%	0.0%	100.0%
博士3年	3	2	1	6
	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%
研究生等	0	1	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
無回答	0	2	2	4
	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%
計	76	287	20	383

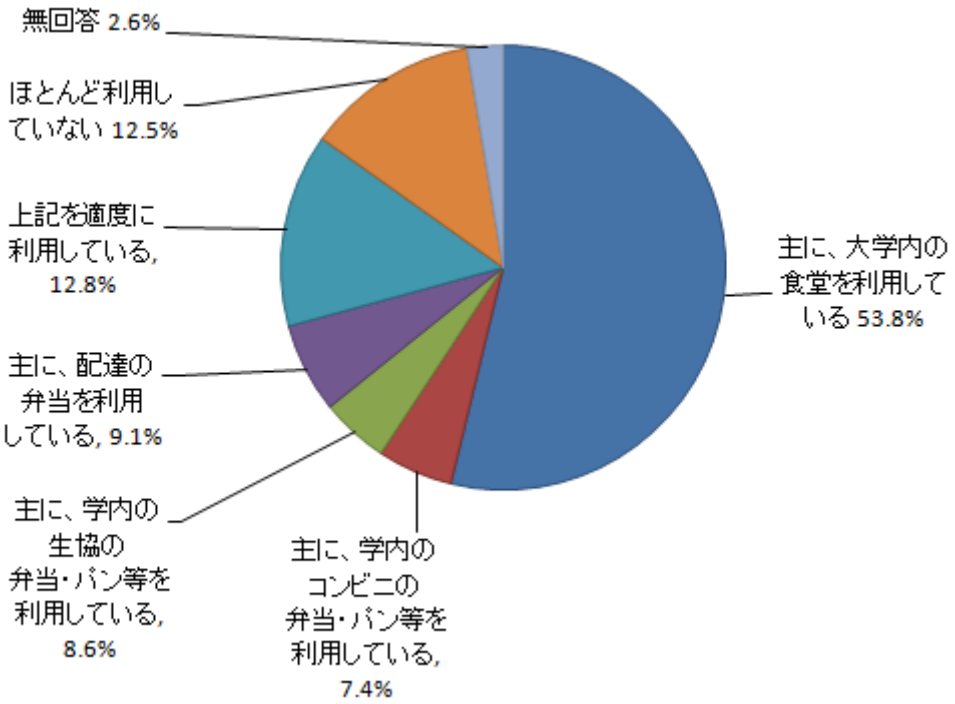


40. 伊都キャンパスでの食事

『伊都キャンパスでの食事は、どのようにしていますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「主に大学内の食堂を利用している」が 53.8%（206 人）と最も多く、ついで「上記を適度に利用している」が 14.1%（54 人）である。前年度の結果と比較すると、若干だが食堂利用者の割合は増加している。

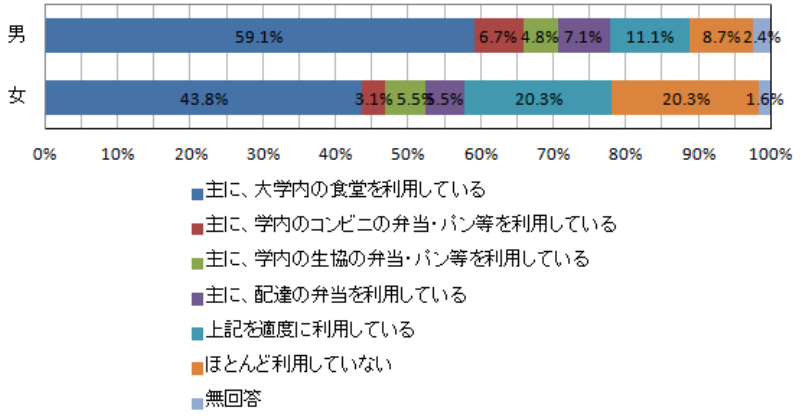
選択項目	回答数	構成比
主に、大学内の食堂を利用している	206	53.8%
主に、学内のコンビニの弁当・パン等を利用している	21	5.5%
主に、学内の生協の弁当・パン等を利用している	19	5.0%
主に、配達の弁当を利用している	25	6.5%
上記を適度に利用している	54	14.1%
ほとんど利用していない	48	12.5%
無回答	10	2.6%
計	383	100.0%



40－1. 性別とのクロス集計

男女別でみると、「主に大学内の食堂を利用している」と答えた男性は 59.1%（149 人）、女性は 43.8%（56 人）である。前年度の結果と比較すると、男性の値が約 10%増加している。女性の値に大きな変化はなかった。

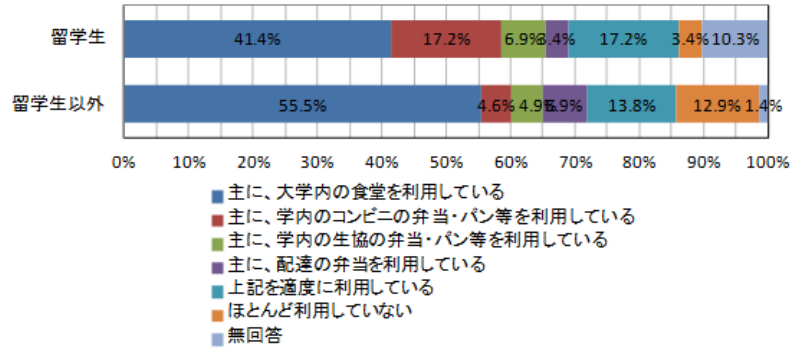
	主に、大学内の食堂を利用している	主に、学内のコンビニの弁当・パン等を利用している	主に、学内の生協の弁当・パン等を利用している	主に、配達の弁当を利用している	上記を適度に利用している	ほとんど利用していない	無回答	計
男	149	17	12	18	28	22	6	252
	59.1%	6.7%	4.8%	7.1%	11.1%	8.7%	2.4%	100.0%
女	56	4	7	7	26	26	2	128
	43.8%	3.1%	5.5%	5.5%	20.3%	20.3%	1.6%	100.0%
無回答	1	0	0	0	0	0	2	3
	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%
計	206	21	19	25	54	48	10	383



40－2. 留学生とのクロス集計

「主に大学内の食堂を利用している」と答えた留学生の割合は留学生以外と比較して少ない。

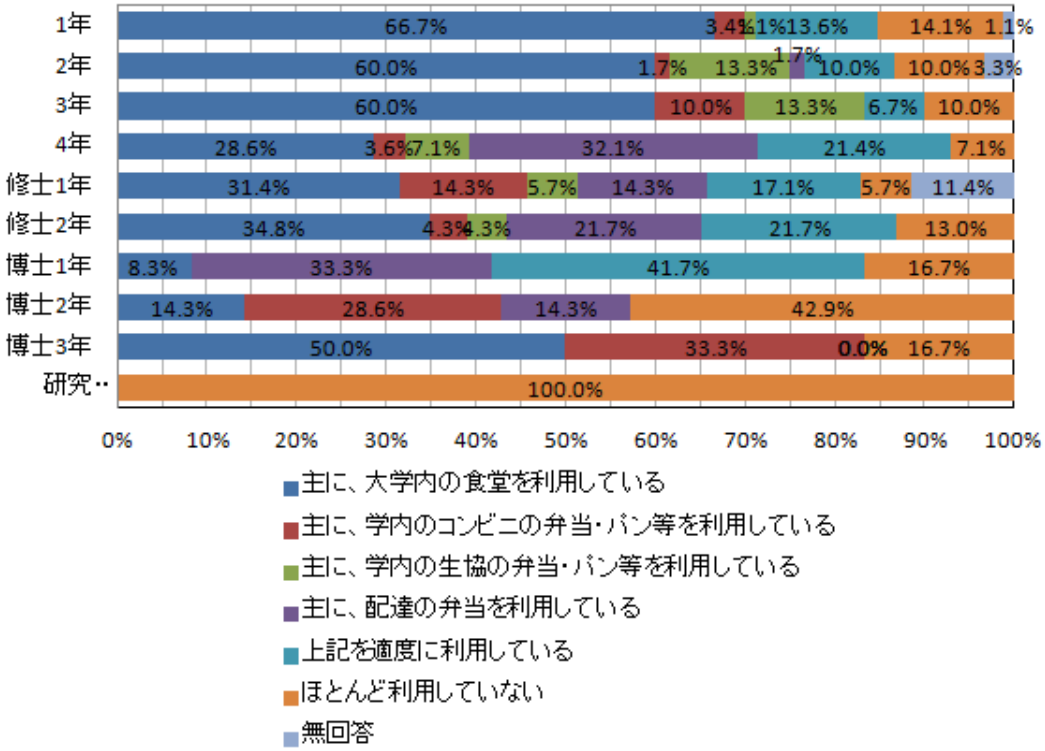
	主に、大学内の食堂を利用している	主に、学内のコンビニの弁当・パン等を利用している	主に、学内の生協の弁当・パン等を利用している	主に、配達の弁当を利用している	上記を適度に利用している	ほとんど利用していない	無回答	計
留学生	12	5	2	1	5	1	3	29
	41.4%	17.2%	6.9%	3.4%	17.2%	3.4%	10.3%	100.0%
留学生以外	193	16	17	24	48	45	5	348
	55.5%	4.6%	4.9%	6.9%	13.8%	12.9%	1.4%	100.0%
無回答	1	0	0	0	1	2	2	6
	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	100.0%
計	206	21	19	25	54	48	10	383



40－3. 学年とのクロス集計

学年別でみると、「主に大学内の食堂を利用している」者の割合は、学部 1 年生が 66.7%（118 人）と最も高く、学年が上がるにつれて「上記を適度に利用している」、「主に宅配の弁当を利用している」の割合が増加する。

	主に、大学内の食堂を利用している	主に、学内のコンビニの弁当・パン等を利用している	主に、学内の生協の弁当・パン等を利用している	主に、配達の弁当を利用している	上記を適度に利用している	ほとんど利用していない	無回答	計
1年	118	6	2		24	25	2	177
	66.7%	3.4%	1.1%	0.0%	13.6%	14.1%	1.1%	100.0%
2年	36	1	8	1	6	6	2	60
	60.0%	1.7%	13.3%	1.7%	10.0%	10.0%	3.3%	100.0%
3年	18	3	4		2	3	0	30
	60.0%	10.0%	13.3%	0.0%	6.7%	10.0%	0.0%	100.0%
4年	8	1	2	9	6	2	0	28
	28.6%	3.6%	7.1%	32.1%	21.4%	7.1%	0.0%	100.0%
修士1年	11	5	2	5	6	2	4	35
	31.4%	14.3%	5.7%	14.3%	17.1%	5.7%	11.4%	100.0%
修士2年	8	1	1	5	5	3	0	23
	34.8%	4.3%	4.3%	21.7%	21.7%	13.0%	0.0%	100.0%
博士1年	1	0	0	4	5	2	0	12
	8.3%	0.0%	0.0%	33.3%	41.7%	16.7%	0.0%	100.0%
博士2年	1	2	0	1	0	3	0	7
	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	100.0%
博士3年	3	2	0	0	0	1	0	6
	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	100.0%
研究生等	0	0	0	0	0	1	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
無回答	2	0	0	0	0	0	2	4
	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
計	206	21	19	25	54	48	10	383

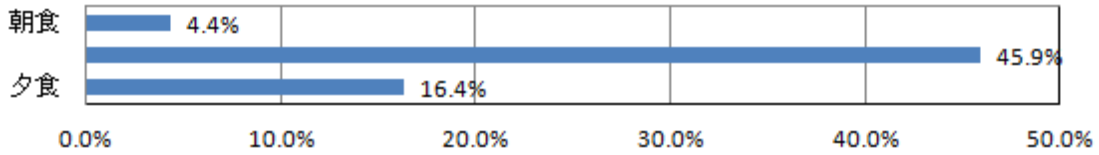


41. 伊都キャンパス内の施設等で利用している食事の区分
（複数回答，問40で1～5を選択した方のみ）

『問４０で『ほとんど利用していない』以外を選択した方にお尋ねします。利用しているのは、朝食・昼食・夕食のいずれですか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「昼食」を選択した者が 45.9%（230 人）と最も高いが、前年度と比較してその値は大きく減少している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
朝食	22	4.4%
昼食	230	45.9%
夕食	82	16.4%

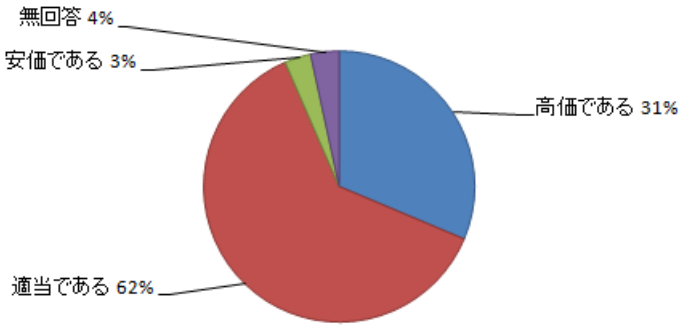


42. 食事の価格について

『食事の価格はどうですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

適当が 62.1%（238 人）、高価が 31.3%（120 人）、安価が 3.1%（12 人）であり、昨年度より適当の割合が増加している。

選択項目	回答数	構成比
高価である	120	31.3%
適当である	238	62.1%
安価である	12	3.1%
無回答	13	3.4%
計	383	100.0%

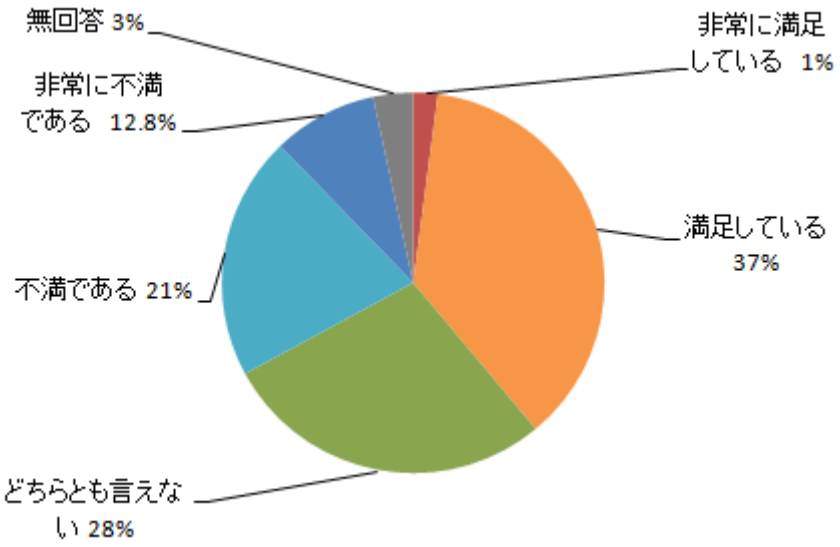


43. 伊都キャンパスでの生活の満足度

『伊都キャンパスでの生活に満足していますか。該当する項目にチェックをして下さい。（特記すべき理由がありましたら、自由記述欄にご記入下さい。）』

「非常に満足している」「満足している」の計は 38.9%（149 人）と多く、前年度の結果と比較すると、「満足している」が約 15%上昇している。一方、「不満である」「非常に不満である」の計は昨年度より減少しているが、29.5%（113 人）を占める。

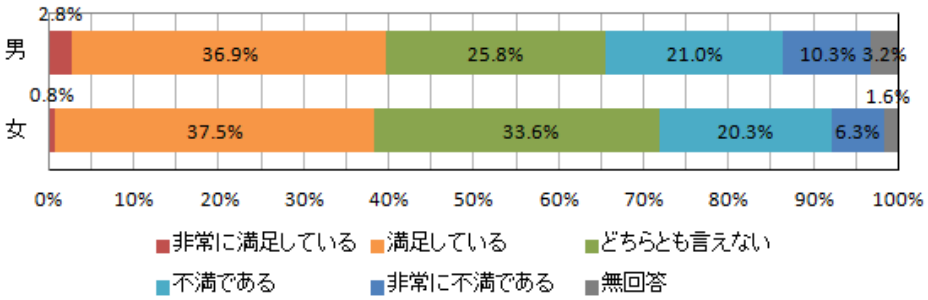
選択項目	回答数	構成比
非常に満足している	8	2.1%
満足している	141	36.8%
どちらとも言えない	108	28.2%
不満である	79	20.6%
非常に不満である	34	8.9%
無回答	13	3.4%
計	383	100.0%



43－1. 性別とのクロス集計

「満足している」と答えた割合は男女間に大きな差異は見られない。しかし、「非常に不満である」と回答した者は男性が多い。

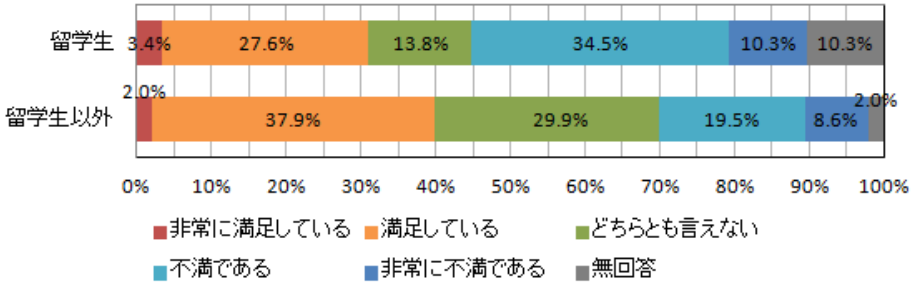
	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答	計
男	7	93	65	53	26	8	252
	2.8%	36.9%	25.8%	21.0%	10.3%	3.2%	100.0%
女	1	48	43	26	8	2	128
	0.8%	37.5%	33.6%	20.3%	6.3%	1.6%	100.0%
無回答	0	0	0	0	0	3	3
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
計	8	141	108	79	34	13	383



43－2. 留学生とのクロス集計

留学生の「非常に不満である」「不満である」の計は 44.8%と高く、約半数の学生は不満を抱えている。

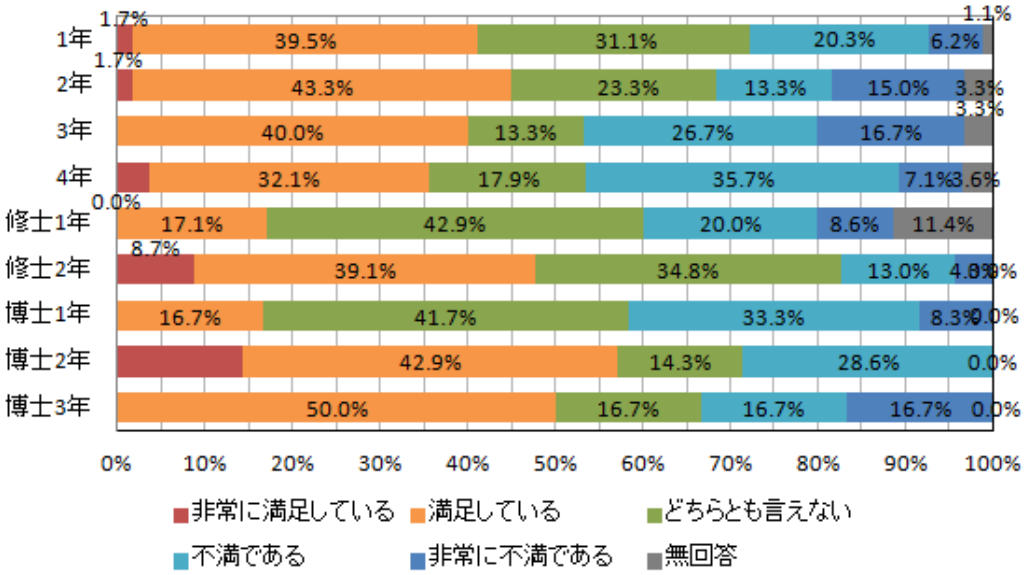
	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答	計
留学生	1	8	4	10	3	3	29
	0.0%	30.0%	32.0%	18.0%	10.0%	10.0%	100.0%
留学生以外	7	132	104	68	30	7	348
	0.8%	22.0%	30.6%	28.1%	15.5%	3.0%	100.0%
無回答	0	1	0	1	1	3	6
	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	100.0%
計	8	141	108	79	34	13	383



43－3. 学年とのクロス集計

「非常に満足している」、「満足している」の計が最も高かったのは博士２年生の 57.2%（4 人）であり、「非常に不満である」、「不満である」の計が最も高かったのは学部３年生の 43.4%（13 人）であった。

	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答	計
1年	3	70	55	36	11	2	177
	1.7%	39.5%	31.1%	20.3%	6.2%	1.1%	100.0%
2年	1	26	14	8	9	2	60
	1.7%	43.3%	23.3%	13.3%	15.0%	3.3%	100.0%
3年	0	12	4	8	5	1	30
	0.0%	40.0%	13.3%	26.7%	16.7%	3.3%	100.0%
4年	1	9	5	10	2	1	28
	3.6%	32.1%	17.9%	35.7%	7.1%	3.6%	100.0%
修士1年	0	6	15	7	3	4	35
	0.0%	17.1%	42.9%	20.0%	8.6%	11.4%	100.0%
修士2年	2	9	8	3	1	0	23
	8.7%	39.1%	34.8%	13.0%	4.3%	0.0%	100.0%
博士1年	0	2	5	4	1	0	12
	0.0%	16.7%	41.7%	33.3%	8.3%	0.0%	100.0%
博士2年	1	3	1	2	0	0	7
	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
博士3年	0	3	1	1	1	0	6
	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
研究生等	0	0	0	0	1	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
無回答	0	1	0	0	0	3	4
	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	100.0%
計	8	141	108	79	34	13	383

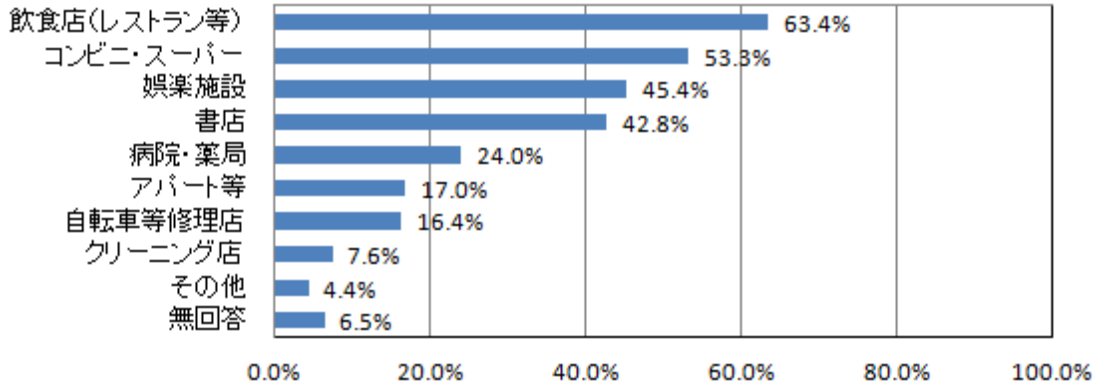


44. 伊都キャンパス周辺に必要な施設（複数回答）

『伊都キャンパス周辺に必要と思われる施設は何ですか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）（特記すべき理由がありましたら、自由記述欄にご記入下さい。）』

「飲食店（レストラン等）」が 65.4%（243 人）で最も多く、ついで「コンビニ・スーパー」（53.3%、204 人）、「娯楽施設」（45.4%、174 人）である。昨年度と比較するとほぼ同じ結果であった。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
飲食店(レストラン等)	243	63.4%
コンビニ・スーパー	204	53.3%
娯楽施設	174	45.4%
書店	164	42.8%
病院・薬局	92	24.0%
アパート等	65	17.0%
自転車等修理店	63	16.4%
クリーニング店	29	7.6%
その他	17	4.4%
無回答	25	6.5%

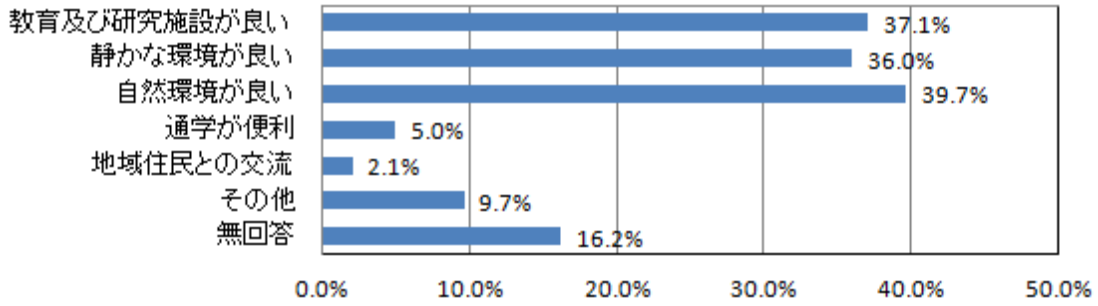


45. 伊都キャンパスに移転して良かったこと（複数回答）

『伊都キャンパスへ移転して良かったと思うことは何ですか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）（特記すべき理由がありましたら、自由記述欄にご記入下さい。）』

「自然環境が良い」が 39.7%（152 人）、「教育及び研究施設が良い」が 37.1%（142 人）、「静かな環境が良い」が 36.0%（138 人）であり、昨年度の結果と大きな差異はなかった。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
教育及び研究施設が良い	142	37.1%
静かな環境が良い	138	36.0%
自然環境が良い	152	39.7%
通学が便利	19	5.0%
地域住民との交流	8	2.1%
その他	37	9.7%
無回答	62	16.2%



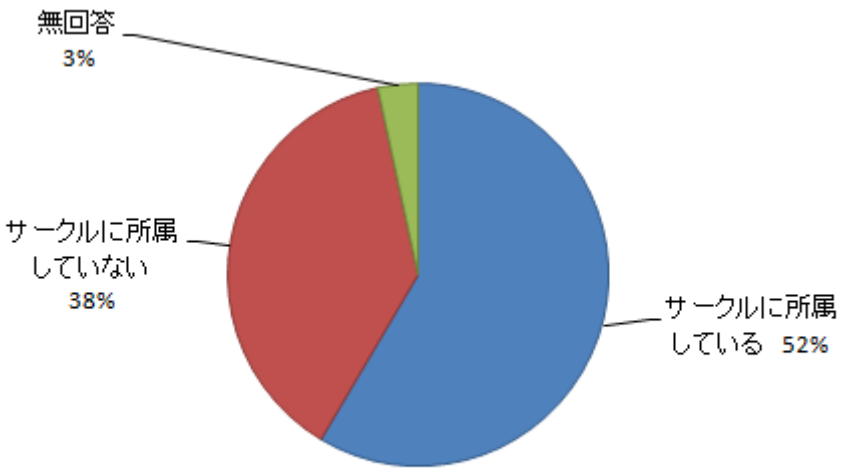
〈放課後の生活について〉

46. サークルへの所属

『あなたはサークルに所属していますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

サークルに所属する学生の割合は 58.5%（224 人）、所属しない学生の割合は 38.1%（146 人）である。

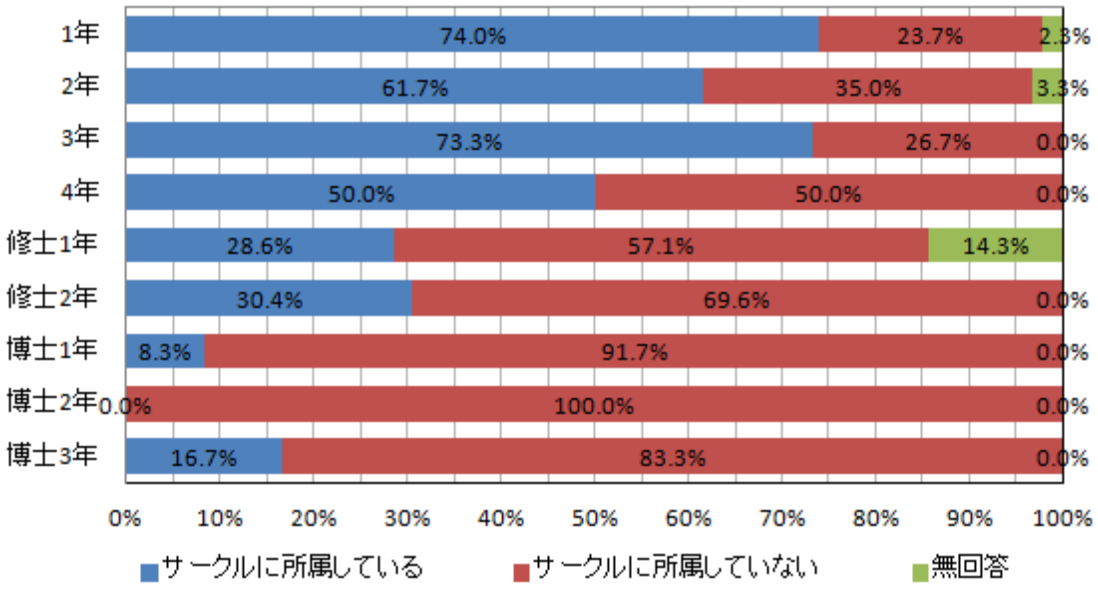
選択項目	回答数	構成比
サークルに所属している	224	58.5%
サークルに所属していない	146	38.1%
無回答	13	3.4%
計	383	100.0%



46－1. 学年とのクロス集計

サークルに所属する学生の割合は、学部１年生が 74.0%で最も高い。高学年になるほど割合は減少している。

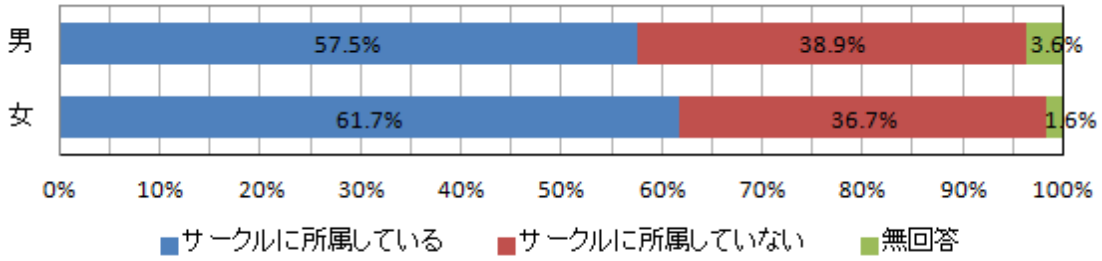
	サークルに所属している	サークルに所属していない	無回答	計
1年	131 74.0%	42 23.7%	4 2.3%	177 100.0%
2年	37 61.7%	21 35.0%	2 3.3%	60 100.0%
3年	22 73.3%	8 26.7%	0 0.0%	30 100.0%
4年	14 50.0%	14 50.0%	0 0.0%	28 100.0%
修士1年	10 28.6%	20 57.1%	5 14.3%	35 100.0%
修士2年	7 30.4%	16 69.6%	0 0.0%	23 100.0%
博士1年	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%	12 100.0%
博士2年	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%
博士3年	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	6 100.0%
研究生等	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	4 100.0%
計	224	146	13	383



46－2. 性別とのクロス集計

女性の方が男性よりもサークルに所属している割合は高い。

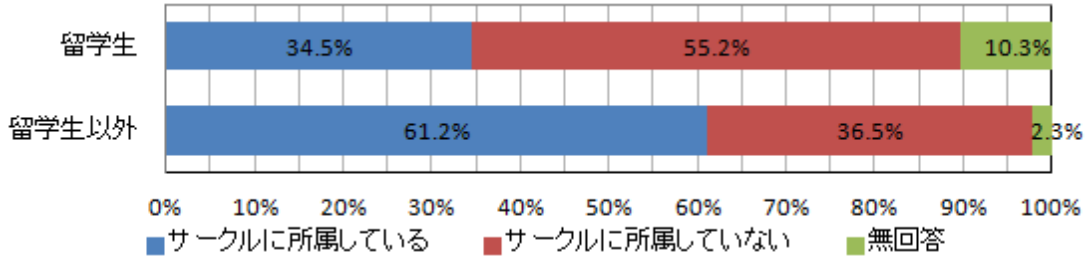
	サークルに所属している	サークルに所属していない	無回答	計
男	145	98	9	252
	57.5%	38.9%	3.6%	100.0%
女	79	47	2	128
	61.7%	36.7%	1.6%	100.0%
無回答	0	1	2	3
	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%
計	224	146	13	383



46－3. 留学生とのクロス集計

留学生はサークルに所属している割合が 34.5%（10 人）と、留学生以外よりも低い。

	サークルに所属している	サークルに所属していない	無回答	計
留学生	10	16	3	29
	34.5%	55.2%	10.3%	100.0%
留学生以外	213	127	8	348
	61.2%	36.5%	2.3%	100.0%
無回答	1	3	2	6
	16.7%	50.0%	33.3%	100.0%
計	224	146	13	383

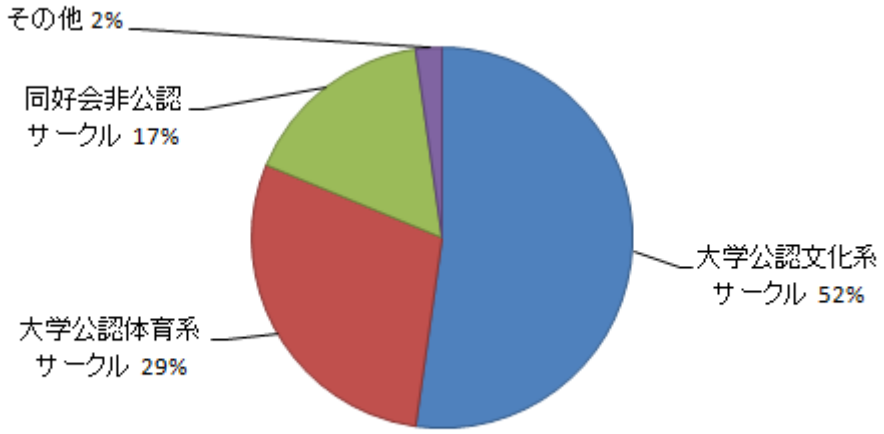


47. 所属するサークルの区分（問46で「サークルに所属している」を選択した方のみ）

『問４６でサークルに『所属している』を選択された方にお尋ねします。どのようなサークルですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

大学公認文化系サークルが 52.2%（117 人）で最も多く、大学公認体育系サークルが 29. 0%（65 人）である。昨年度と比較すると、大学公認文化系サークルが大きく増加し、大学公認体育系サークルが減少している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
大学公認文化系サークル	117	52.2%
大学公認体育系サークル	65	29.0%
同好会非公認サークル	37	16.5%
その他	5	2.2%

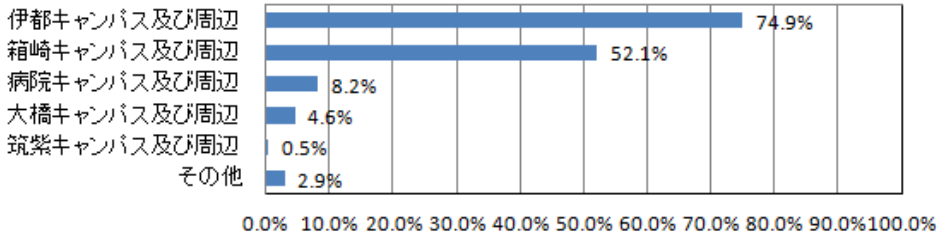


48. サークルの活動場所（問46で「サークルに所属している」を選択した方のみ）

『４８．問４６でサークルに『所属している』を選択された方にお尋ねします。サークル活動の活動場所について、該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

伊都キャンパス周辺が 74.9%（164 人）と最も高く、ついで箱崎キャンパスが 52.1%（114 人）である。昨年度と傾向は変わらない。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
伊都キャンパス及び周辺	164	74.9%
箱崎キャンパス及び周辺	114	52.1%
病院キャンパス及び周辺	18	8.2%
大橋キャンパス及び周辺	10	4.6%
筑紫キャンパス及び周辺	1	0.5%
その他	12	2.9%

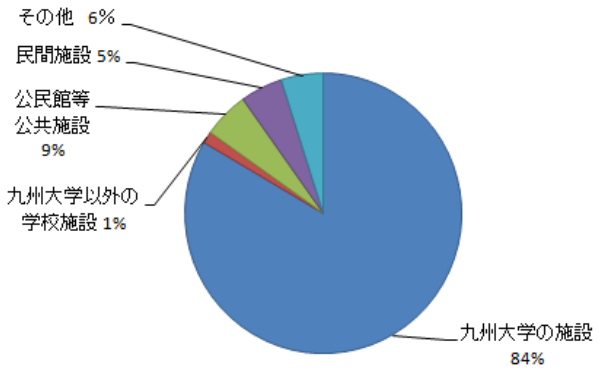


49. サークルの活動施設（問46で「サークルに所属している」を選択した方のみ）

『問４６でサークルに『所属している』を選択された方にお尋ねします。サークル活動の活動施設について、該当する項目にチェックをして下さい。』

九州大学の施設が 83.5%（187 人）と最も多い。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
九州大学の施設	187	83.5%
九州大学以外の学校施設	3	1.3%
公民館等公共施設	12	5.4%
民間施設	11	4.9%
その他	11	4.9%

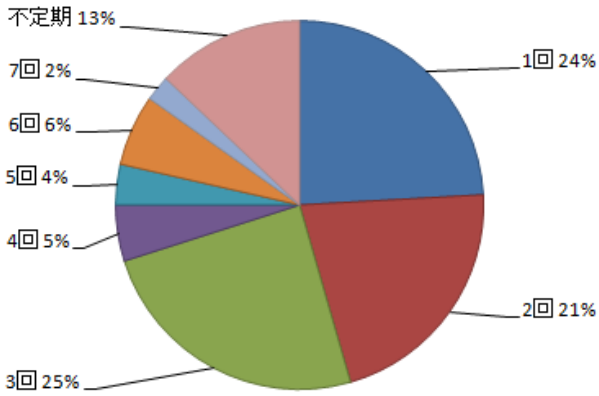


50. サークルの活動頻度（問46で「サークルに所属している」を選択した方のみ）

『問４６でサークルに『所属している』を選択された方にお尋ねします。部活・サークル活動はだいたい週に何回ですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

週３回が 24.6%（55 人）と最も多く、ついで週１回が 24.1%（54 人）である。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
1回	54	24.1%
2回	48	21.4%
3回	55	24.6%
4回	11	4.9%
5回	8	3.6%
6回	14	6.3%
7回	5	2.2%
不定期	29	12.9%

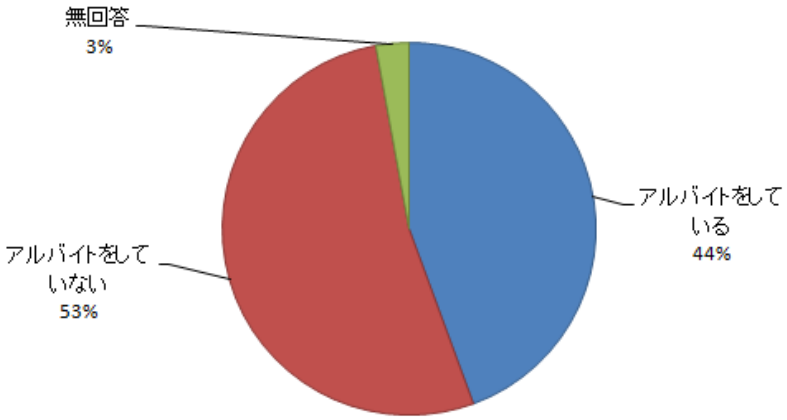


51. アルバイトの有無

『アルバイトをしていますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

アルバイトをしている学生は 44.4%（170 人）、アルバイトをしていない学生は 52.7%（202 人）である。その割合は、昨年度と同じである。

選択項目	回答数	構成比
アルバイトをしている	170	44.4%
アルバイトをしていない	202	52.7%
無回答	11	2.9%
計	383	100.0%

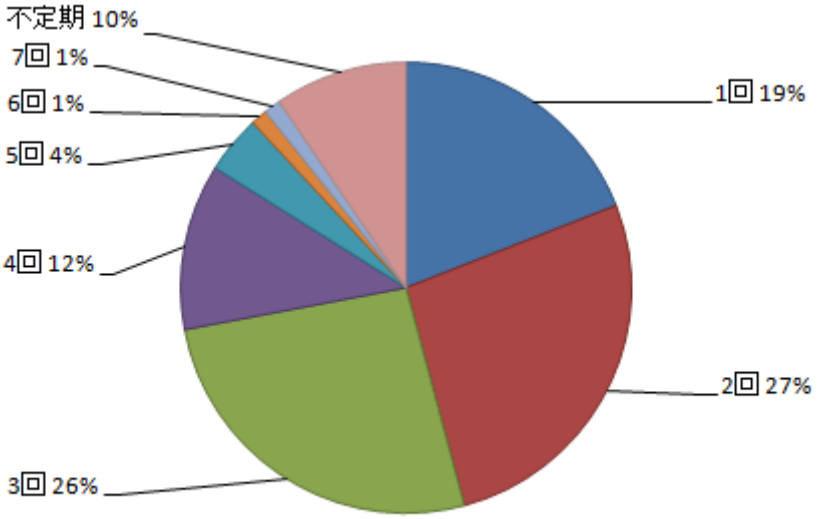


52. アルバイトの頻度 （問51で「アルバイトをしている」を選択した方のみ）

『問５１で『アルバイトをしている』を選択された方にお尋ねします。アルバイトはだいたい週に何回ですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

アルバイトの回数は、週に２回（26.5%、45 人）と週に３回（25.9%、44 人）が多い。その割合は、昨年度とほぼ同じである。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
1回	32	18.8%
2回	45	26.5%
3回	44	25.9%
4回	20	11.8%
5回	7	4.1%
6回	2	1.2%
7回	2	1.2%
不定期	16	9.4%



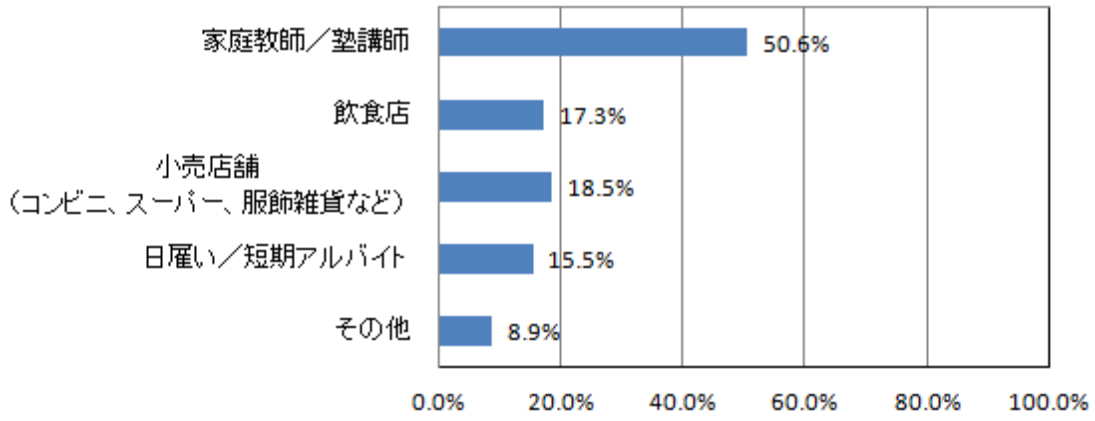
53. アルバイトの種類

（複数回答，問51で「アルバイトをしている」を選択した方のみ）

『問５１で『アルバイトをしている』を選択された方にお尋ねします。あなたのアルバイトの種類について、該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

家庭教師や塾講師が 50.6%（85 人）と最も多く、ついで小売店舗（コンビニ、スーパー、服飾雑貨など）が 18.5%（31 人）であった。昨年度の結果との違いは、飲食店のアルバイトが減少している点である。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
家庭教師／塾講師	85	50.6%
飲食店	29	17.3%
小売店舗（コンビニ、スーパー、服飾雑貨など）	31	18.5%
日雇い／短期アルバイト	26	15.5%
その他	15	8.9%



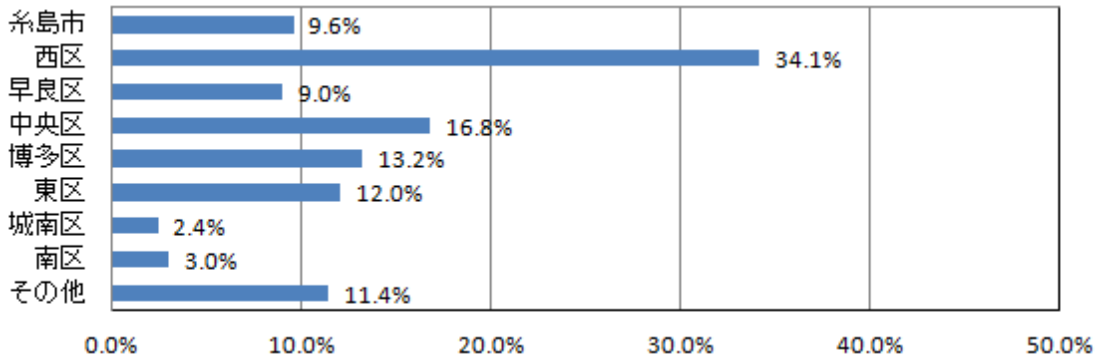
54. アルバイトの場所

（複数回答，問51で「アルバイトをしている」を選択した方のみ）

『問５１で『アルバイトをしている』を選択された方にお尋ねします。アルバイトをしている場所はどこですか。該当する項目にチェックをし、アルバイト先が西区、又は、糸島市の方は町名まで記入して下さい。【町名例：姪浜、周船寺、波多江北など】』

西区が 34.1%（57 人）と最も多く、ついで中央区が 16.8%（28 人）である。昨年度と比較すると、糸島市、博多区、東区が若干増加している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
糸島市	16	9.6%
西区	57	34.1%
早良区	15	9.0%
中央区	28	16.8%
博多区	22	13.2%
東区	20	12.0%
城南区	4	2.4%
南区	5	3.0%
その他	19	11.4%

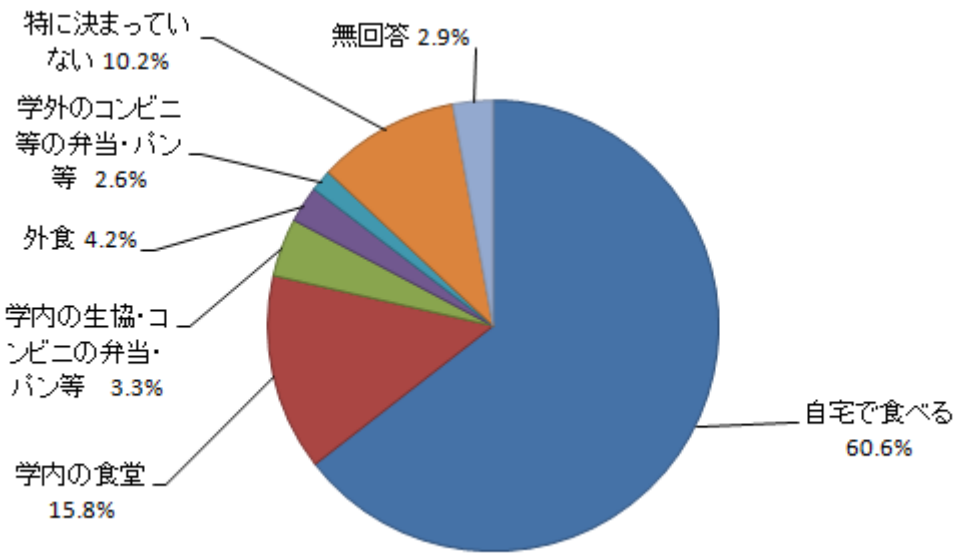


55. 夕食の方法

『あなたは夕食を主にどのようにしていますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「自宅で食べる」と答えた学生は 60.6%（247 人）で最も多く、ついで「学内の食堂」が 15.8%（54 人）である。その割合は、昨年度とほぼ同じである。

選択項目	回答数	構成数
自宅で食べる	247	64.5%
学内の食堂を利用している	54	14.1%
学内の生協・コンビニの弁当・パン等を利用している	16	4.2%
外食している	10	2.6%
学外のコンビニ等の弁当・パン等を利用している	6	1.6%
特に決まっていない	39	10.2%
無回答	11	2.9%
計	383	100.0%

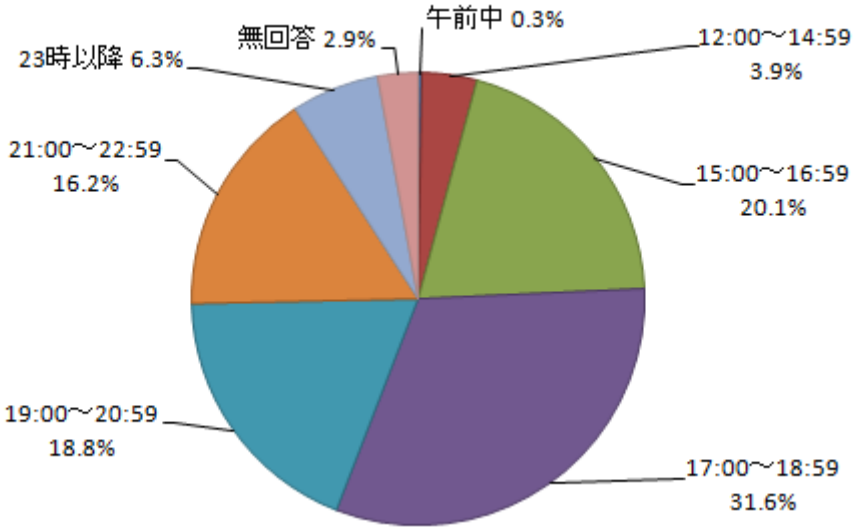


56. 主な下校時間

『あなたが一週間のうち最も多く下校する時間について、該当する項目にチェックをして下さい。』

17：00~18：59 が 31.6%（121 人）と最も多く、ついで 15：00~16：59 が 20.1%（77 人）であった。その割合は、昨年度とほぼ同じである。

選択項目	回答数	構成比
午前中	1	0.3%
12:00～14:59	15	3.9%
15:00～16:59	77	20.1%
17:00～18:59	121	31.6%
19:00～20:59	72	18.8%
21:00～22:59	62	16.2%
23時以降	24	6.3%
無回答	11	2.9%
計	383	100.0%



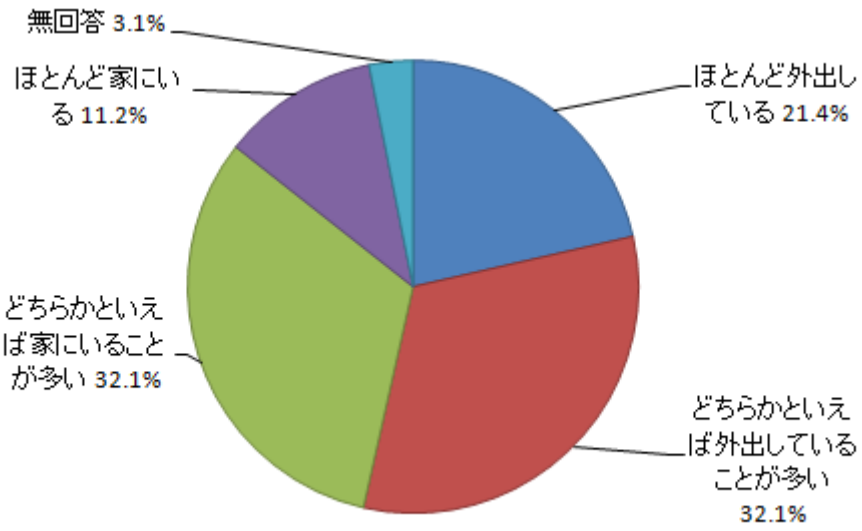
〈休日の活動について〉

58. 休日の外出頻度

『あなたは休日にどれくらい外出しますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「どちらかといえば外出していることが多い」と「どちらかといえば家にいることが多い」が同数でそれぞれ 32.1%（123 人）であった。昨年度と比べ、大きな変化はない。

選択項目	回答数	構成比
ほとんど外出している	82	21.4%
どちらかといえば外出していることが多い	123	32.1%
どちらかといえば家にいることが多い	123	32.1%
ほとんど家にいる	43	11.2%
無回答	12	3.1%
計	383	100.0%

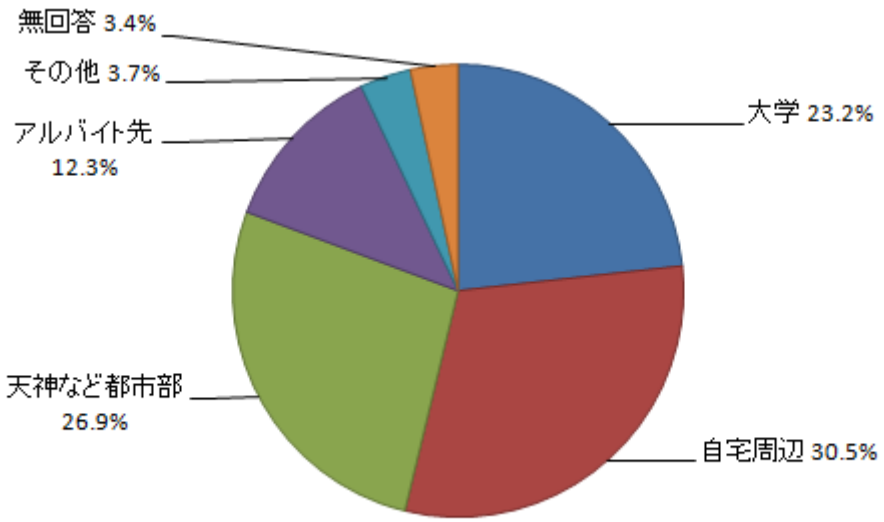


59. 休日の主な外出先

『あなたは休日にどこに外出することが最も多いですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「自宅周辺」が 30.5%（117 人）と最も多く、ついで「天神など都市部」が 26.9%（103 人）である。昨年度と比べ、大きな変化はない。

選択項目	回答数	構成比
大学	89	23.2%
自宅周辺	117	30.5%
天神など都市部	103	26.9%
アルバイト先	47	12.3%
その他	14	3.7%
無回答	13	3.4%
計	383	100.0%



〈自由記述〉

『伊都キャンパスに関し、次の事項についてご意見等ありましたら、以下の欄に自由にご記入ください。』

自由記述の概要

1. 施設・建物に関して

キャンパスの施設・建物に関する意見では、キャンパスが綺麗、キャンパスに満足という意見が見られる一方で、現況の施設の問題が多く指摘されています。特に、雨・風の吹きさらし空間の改善へ要望、外廊下を室内化してほしい、すでに建物が破損、建物間の移動が不便、ぬかるみ・水はけの改善、暖房がきかない、換気・風通しが良くないなどの意見が多くみられました。一方、駐輪・駐車に関する要望としては、バス停スペースの拡大、駐輪場の環境改善、駐輪場・駐車場の拡大、入構料金が高すぎるなどの意見がありました。

ご指摘のあった施設および駐輪・駐車等の課題については、新キャンパス計画専門委員会に設置している施設改善ＷＧおよび交通計画ＷＧで引き続き検討し、法令の遵守をふまえ必要な措置を講じます。多額の予算を伴うものについては、実施するまでの時間を要しており、皆さんにご迷惑をおかけします。前原方面の南ゲートについては、農場の造成・整備にあわせて設置する予定です。

1. 1 キャンパス全体に対する意見

伊都キャンパスがきれい（３）、伊都キャンパスに満足（２）、キャンパスが広くて移動困難（７）、図書館が遠い（３）、新たな学内交通手段の整備が必要（２）、立地環境（夏の暑さや冬は寒さ）に関する意見（４）、都心から離れた立地に対する不満（４）、施設配置への不満（１）、課外活動施設・グランドの位置への不満（３）、前原方面の裏門設置要望（１）、自然環境保全への意見（２）、キャンパス内の樹木の少なさ（２）、交流スペースの整備（２）、移転スケジュールへの意見（２）

1. 2 キャンパス内施設

建物はきれい、新しい、よい（４）、雨・風の吹きさらし空間の改善へ要望（９）、外廊下を室内化してほしい（６）、センター２号館５限終了後の階段が暗い（１）、エレベータが遅い（１）、扉が重い（１）、すでに建物が破損（４）、ぬかるみ・水はけの改善（２）、生体防御医学研究所の老朽化（１）、建物間の移動が不便（３）、教室・部屋がせまい（３）、個人が使えるスペースが少ない（１）、暖房がきかない（３）、換気・風通しが良くない（２）、喫煙スペースの管理・マナーがよくない（２）、旧喫煙室を復活（１）、トイレの不審者対策（１）、トイレの設備と管理の充実（２）、清掃の徹底（７）、センターゾーンの汚れが酷い（３）、鳥の糞問題（３）、強風対策の必要性（１２）、雨ざらし箇所の改善（７）、排水・水はけ問題（２）

1．3 学生サービスに関する要望

書籍部の充実（２）、図書館の蔵書充実（１）、施設（特に図書館）の利用時間に関する要望（９）、ドミトリー入居者への入構証発行（１）、コンピュータ等の備品充実（３）

1．4 交通、交通施設、駐車場、駐輪場に関する意見

交通が不便（８）、循環バスのドミトリー立ち寄り（１）、バス停スペースの拡大（３）、駐輪場に屋根を設置（６）、駐車場の新設要望（３）、未利用スペースの駐輪場・駐車場化（３）、駐車場のマナー問題（３）、駐車場の凸凹の解消とアスファルト化（２）、自動車やバイクが必要な環境なのに駐車場整備が不十分（２）、駐輪場における自転車と原付の分離（２）、入構年 12000 円は高すぎる（３）

2. キャンパス内の生活支援施設（食堂、売店等）に関して

生活支援施設全般では、ATM の充実、利用時間の拡大、薬局、クリーニング店、理髪店（美容室）の新設、運動施設の充実が挙げられています。レストランについては、営業曜日・時間の拡大、レストランの食事を安く、食堂のメニュー充実、栄養バランスを考えてほしい、カフェ・喫茶店、また、スタバ、マクドナルド、ほっともっとなどのチェーン店を入れてほしいなどの要望のほか、食堂の混雑解消、席取りや長時間占有などのマナー問題などが挙げられています。その他、コンビニの営業時間拡大や新設、販売品目の充実と価格の値下げ、気軽に談笑・仮眠・休憩できる施設の要望がありました。

要望のあった施設については、学内および周辺地区で設置または誘致に向けた検討をしますが、商業施設については、立地するかどうかは基本的に事業者各々の判断によるところが大きく、採算性が重視されるものであることをご理解ください。メニューや価格の改善要望については事業者と協議します。2012 年４月からはセンター地区で、学生が運営するカルチャーカフェ伊都店の営業が開始されます。

2．1 生活支援施設全般

ATM の充実、利用時間を拡大（３）、薬局、クリーニング店、理髪店（美容室）の新設（１）、運動施設（プール、筋トレ）の充実（３）

2．2 レストランに関する意見

レストランの営業曜日・時間の拡大（５）、レストランの食事を安く（１７）、ビッグドラ食堂は高い（７）、食堂のメニュー充実、栄養バランスを考えてほしい（１２）、２号館から食堂が遠い（４）、ウエストゾーンの食堂でもミールカードが使えるようにしてほしい（５）、食堂を増やしてほしい（２）、カフェ・喫茶店をいれてほしい（２）、スタバ、マクドナルド、ほっともっとなどのチェーン店を入れてほしい（３）カップ麺やパンの自販機を充実

（1）、昼食時の食堂の混雑を解消してほしい（１３）、席取りや長時間占有などのマナーが悪い（2）、券売機付近の整列の徹底を（1）

2. 3 コンビニ、売店、書店

コンビニの営業時間拡大（3）、センターゾーンにも生協の売店を（2）、販売品目の充実と価格の値下げを（3）、書店、電化店、飲食店の充実（1）

2. 4 その他

空き時間に談笑できる施設がほしい（3）、仮眠・休憩できる施設の設置（2）

3. 住居(学生寄宿舎、民間賃貸物件等)に関して

家賃が高い、安くしてほしい。周辺環境に見合った価格でなく割高であること、周辺は不便であること、スーパー等の充実の要望がありました。また、ドミトリーの価格が高いことや入居者募集に関する情報提供の改善要望がありました。

キャンパス周辺にはもともと学生向けの住宅が無かったため、民間事業者に建設していただいています。新築物件ばかりであるために価格が高いことはご指摘の通りです。シェアハウスなどの低価格物件の供給などを引き続きお願いしていきます。ドミトリーに関する指摘についても課題として検討します。

アパートの家賃が高い（8）、周辺環境に見合った価格でない（7）、寮を新築するよりも家賃補助などのサービスを（2）、どこに住んでも不便、スーパーを充実してほしい（6）、ドミトリーの家賃は高い（3）、ドミトリーは狭い（1）、ドミトリーの入居者募集に関する情報提供が適切でない（3）、寮内の治安向上（1）

4. 課外活動、アルバイトに関して

課外活動については、課外活動のスペースの問題、キャンパス間の移動やサークル終了後の帰宅の課題が挙げられました。一方、アルバイトに関しては、アルバイトに関する情報の積極的紹介、遠方でのアルバイトにおける交通費負担の問題等が指摘されています。

課外活動の移動に伴う課題については、交通計画WGで検討し必要な策を講じます。学内の学生雇用増についても検討します。

課外活動のスペースが狭い（2）、移転に伴い部室が狭くなった（1）、課外活動施設が遠い（3）課外活動施設が狭い（1）、キャンパス間の移動が大変、部員がすべて伊都にある部活もある（2）、サークル後のバスが少ない、また混みあう（2）、サークル棟の開館延長（1）、大学周辺でアルバイトする場所がない（6）、アルバイトに関する情報をもっと積極的に紹介してほしい（5）、遠方までアルバイトに行くと交通費がかかる（4）アルバイトはあきらめています（2）大学内の各種仕事を業者に頼まず、積極的に学生を雇用したらどうか（1）

5. 伊都キャンパス周辺の地元まちづくりへの要望又は地域との連携等に関して

大学周辺の市街地の充実、特に生活利便施設・商業・娯楽施設の充実を希望しています。また、交通に関する意見も多く、大学までの直通電車や自転車専用道の整備も挙げられています。

軌道系の設置要望については関係機関への要望を 2011 年に行っており、周辺の生活利便施設・商業・娯楽施設の充実、自転車専用道整備等についても、引き続き学外の関係機関へ働きかけます。

キャンパスや周辺市街地に施設を充実してほしい（２４）、スーパー、飲食店など生活利便施設がほしい（４）、商業・娯楽施設がほしい（８）、大型書店が必要である（２）、地元と連携し店を増やしてほしい（３）、大学まで直通の電車がほしい（５）、自転車専用レーンの設置（２）、地元と交流の強化（８）、自然環境の保全・公園の整備（２）

6. その他

上記以外で最も多かった意見は、交通に関する改善要求であり、西鉄バス・昭和バスの運行改善に関するものが多くみられました。

バスなど公共交通の運行改善については，事業者の判断により行われるものであるため交渉から実現まで時間がかかりますが、2012 年 4 月に昭和バス路線の増便や駅前での乗車方法見直しなどによる運行改善を予定しています。

西鉄バス・昭和バスの運行改善（14）、キャンパス間移動が困難（４）、構内の交通マナーの徹底（３）、循環バスがドミトリー立ち寄り（２）、レンタサイクルの拠点を大学以外にも（１）、商業施設等の充実（２）、治安向上（１）、移転そのものへの反対・意見（６）